

# 統計からみたやまなし

— 令和2年度 —

## キュウリの長さ比べ

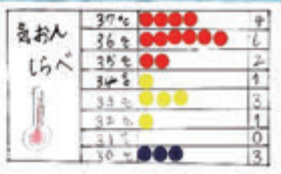
天気と気温をしらべよ

—かんざつきかん—  
れいわ元年7月21日～8月9日

かんざつきのこと

おじいちゃんのはたけにうえたきゅうり5かぶの中、1かぶのきゅうりを花がさいてしゅうかくできるまでの長さをまい日夕しらべました。

日	天気	気温	1ばん花 (10日間)	2ばん花 (7日間)	3ばん花 (6日間)	4ばん花 (6日間)	5ばん花 (6日間)	6ばん花 (5日間)
7/21	くもり	32℃	1.5cm					
22	雨	30℃	2.5cm					
23	くもり	33℃	3.5cm					
24	はれ	33℃	4.5cm					
25	はれ	33℃	5cm					
26	はれ	30℃	7.5cm					
27	曇り	30℃	7.5cm	3cm				
28	はれ	34℃	10.5cm	7.5cm				
29	はれ	35℃	19.5cm	4cm				
30	はれ	35℃		6cm				
31	はれ	36℃		9.5cm				
8/1	はれ	37℃		12.5cm				
2	はれ	36℃		12.5cm	4cm			
3	はれ	36℃			5.5cm	5cm		
4	はれ	37℃			8.5cm	8.5cm	1.5cm	
5	はれ	36℃			11cm	11cm	4.5cm	3.5cm
6	はれ	37℃			15.5cm	15.5cm	6.5cm	4.5cm
7	はれ	37℃			21cm	21cm	9cm	8cm
8	はれ	36℃					12.5cm	14cm
9	はれ	36℃					19cm	19.5cm



まとめ

キュウリは「はれあつ日」がつうとよくせい長することがわかった。  
まい日たっぷり水やりすることも大切

## 山梨県のシンボル

### 県の鳥 うぐいす



春を告げる鳥として親しみ愛される鳥で、他の鳥のひなを育てるという習性を持っているため「明朗と慈愛」を表しています。  
昭和39年6月制定

### 県の木 かえで



その葉は、秋、霜をうけて紅葉します。その様は「山々の男ぶり見よ甲斐の秋」（虚子）などよまれています。昭和41年9月制定

### 県の花 ふじざくら



きびしい富士の雪風に耐えて、つつましくかに咲く花は「和と忍耐」を表しています。  
昭和29年制定

### 県の獣 かもしか



高山のきびしい自然に耐えて生きているところが「忍耐・努力」を表しています。  
昭和39年6月制定

## 目次

山梨ってどんな県? ..... 2

### グラフでみるやまなし

自然・気象 ..... 4

人口 ..... 5

経済 ..... 7

事業所 ..... 8

工業 ..... 9

商業 ..... 11

農業 ..... 12

労働 ..... 13

物価 ..... 14

家計 ..... 15

福祉・医療 ..... 16

社会生活 ..... 17

教育 ..... 18

交通・通信・エネルギー ..... 19

観光・国際交流 ..... 20

居住環境 ..... 21

災害・事故 ..... 22

### 表紙の説明

#### 「キュウリの長さしらべ 天気と気おんもしらべたよ」

「第67回山梨県統計グラフコンクール」教育長賞の  
山梨学院小学校2年（受賞時）丹沢 理人さんの作品です。

※令和2年度は統計グラフコンクールが中止となったため、  
入賞作品の掲載はありません。

# 山梨ってどんな県？

全国順位上位3以内の主なものを  
分野別に掲載しました。

## 自然

### ■森林面積割合（対総面積）



平成26年度  
全国3位 77.8%

資料：統計でみる都道府県のすがた2021（総務省統計局）

### ■日照時間（年間）



令和元年度  
全国1位 2,216.1時間

## 文化・スポーツ

### ■図書館数(人口100万人当たり)



平成30年度  
全国1位 64.9館

資料：統計でみる都道府県のすがた2021（総務省統計局）

### ■多目的運動広場数(公共) (人口100万人当たり)



平成30年度  
全国3位 166.5施設

資料：統計でみる都道府県の  
すがた 2021（総務省統計局）

## 居住

### ■コンビニエンスストア数 (人口10万人当たり)

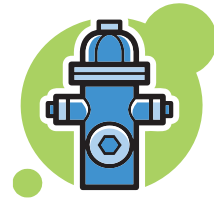


平成26年度  
全国2位 33.3所

資料：統計でみる都道府県の  
すがた 2021（総務省統計局）

## 安全

### ■消防水利数(人口10万人当たり)



令和元年度  
全国1位 3,850.3所

資料：統計でみる都道府県の  
すがた 2021（総務省統計局）

## 労働

### ■高齢就業者割合 (65歳以上) (対65歳以上人口)

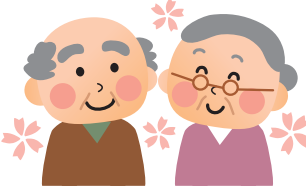


平成27年度  
全国2位 27.0%

資料：統計でみる都道府県のすがた 2021（総務省統計局）

## 健康

### ■健康寿命

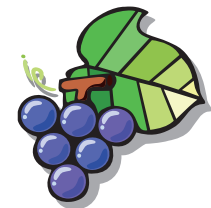


平成28年  
男性 全国1位 73.21年  
女性 全国3位 76.22年

資料：厚生科学審議会第11回健康日本21(第二次)推進専門委員会

## 農業

### ■ぶどう収穫量（年間）



令和元年  
全国1位 36,900t

資料：作物統計調査（農林水産省）

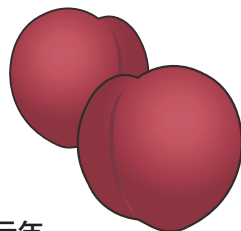
### ■もも収穫量（年間）



令和元年  
全国1位 30,700t

資料：作物統計調査（農林水産省）

### ■すもも収穫量（年間）



令和元年  
全国1位 5,420t

## 工業

### ■ワイナリー数



平成30年度  
全国1位 85事業所

資料：国内製造ワインの概況（国税庁）

## 工業

■生産量  
日本ワイン



平成30年度  
**全国1位** 5,189kl

資料：果実酒製造業者実態調査（国税庁）

■出荷額(年間)ミネラルウォーター



平成30年  
**全国1位** 717億円

資料：2019年工業統計調査（経済産業省）

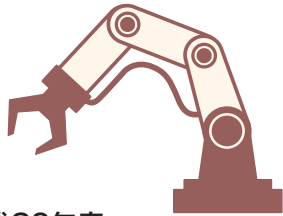
■事業所数  
貴金属・宝石製装身具製品製造業



令和元年  
**全国1位** 94事業所

## 家計

■出荷額(年間)数値制御ロボット



平成30年度  
**全国1位** 2,791億円

資料：2019年工業統計調査（経済産業省）

■支出金額(1世帯当たり年間)ぶどう



平成29年～令和元年平均  
**全国1位** 7,659円

資料：家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング(統計調査課)

■支出金額(1世帯当たり年間)まぐろ



平成29年～令和元年平均  
**全国2位** 9,040円

■支出金額(1世帯当たり年間)あさり



平成29年～令和元年平均  
**全国2位** 1,055円

■支出金額(1世帯当たり年間)他の貝



※あさり、しじみ、かき、ほたて貝以外の貝類

平成29年～令和元年平均  
**全国2位** 901円

■支出金額(1世帯当たり年間)桃



平成29年～令和元年平均  
**全国2位** 3,396円

資料：家計調査(二人以上の世帯)「食料支出金額」品目別の都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング(統計調査課)

## 社会生活

■1日の食事時間



平成28年  
**全国1位** 1時間45分

■ボランティア活動のうち「障害者を対象とした活動」の行動者率(年間)



平成28年  
**全国1位** 2.0%

■「ゲートボール」の行動者率(年間)

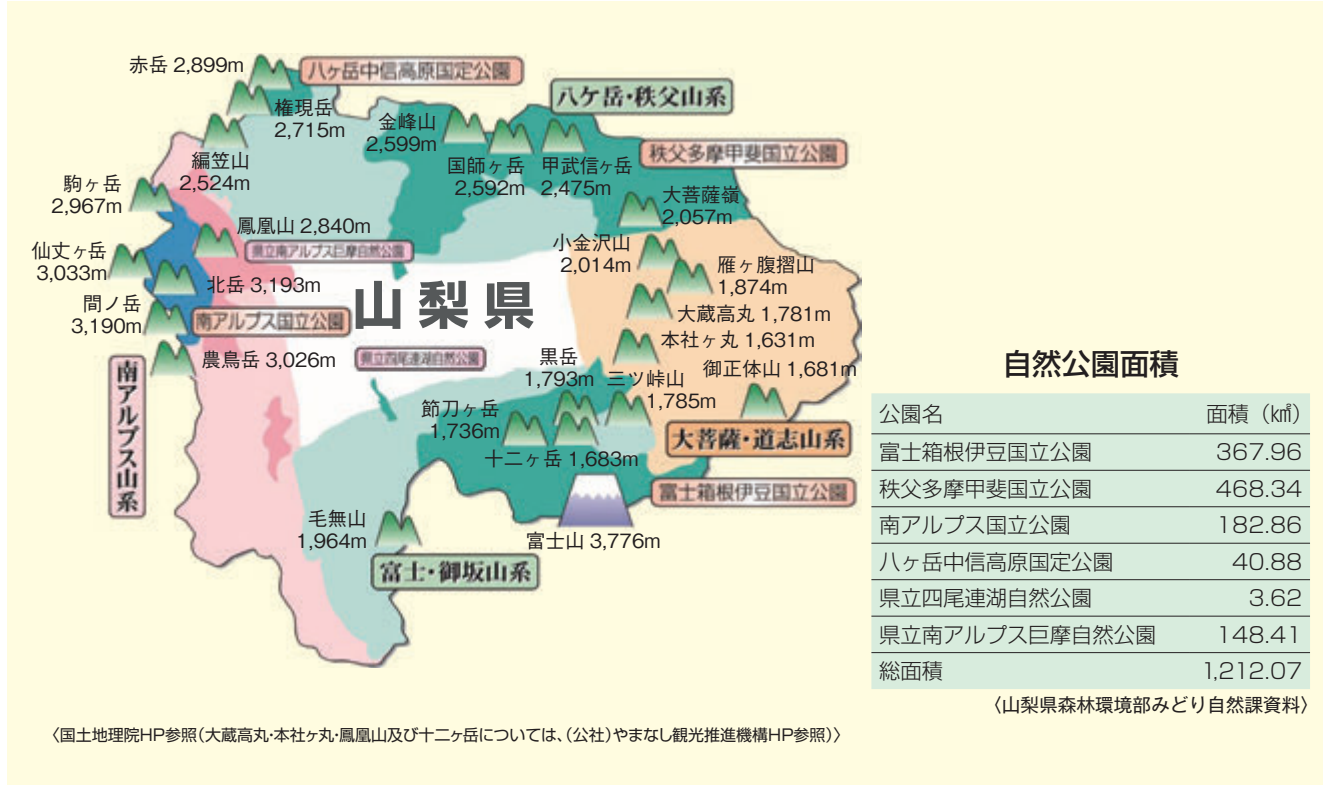


平成28年  
**全国2位** 1.8%

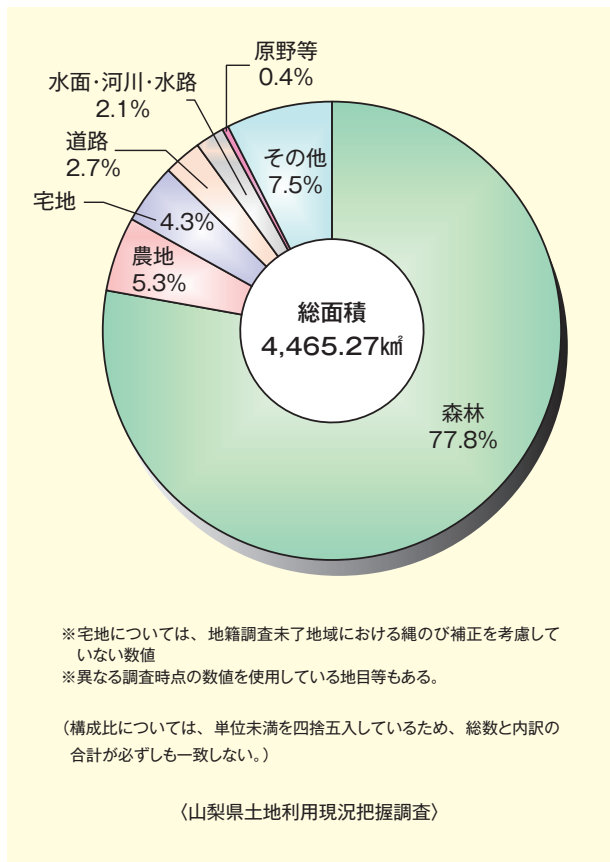
資料：平成28年社会生活基本調査 結果報告書(統計調査課)

# グラフでみるやまなし 自然・気象

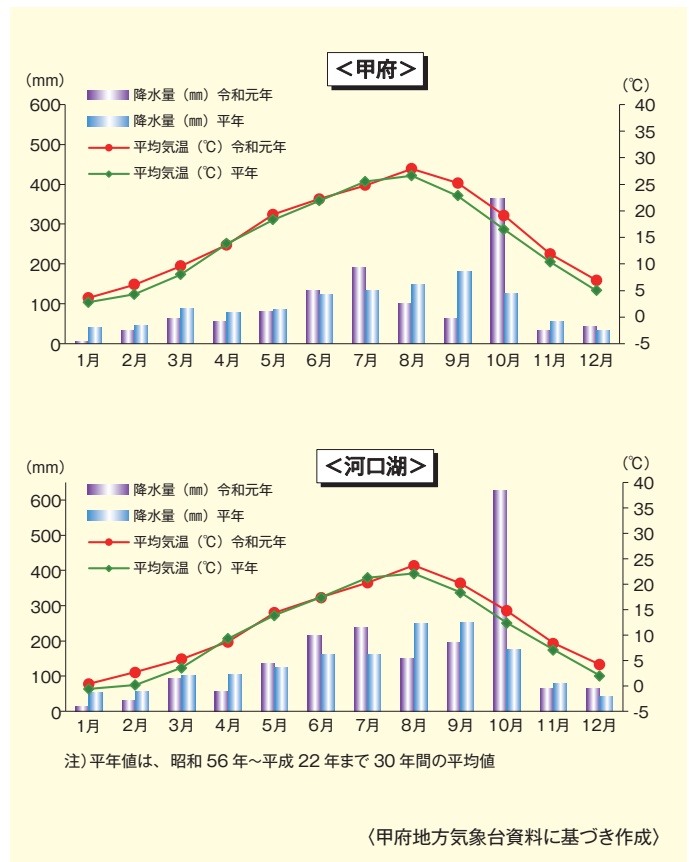
## 主な山梨百名山・自然公園面積



## 山梨県土地利用状況(令和元年10月1日)



## 月別平均気温と降水量(令和元年)

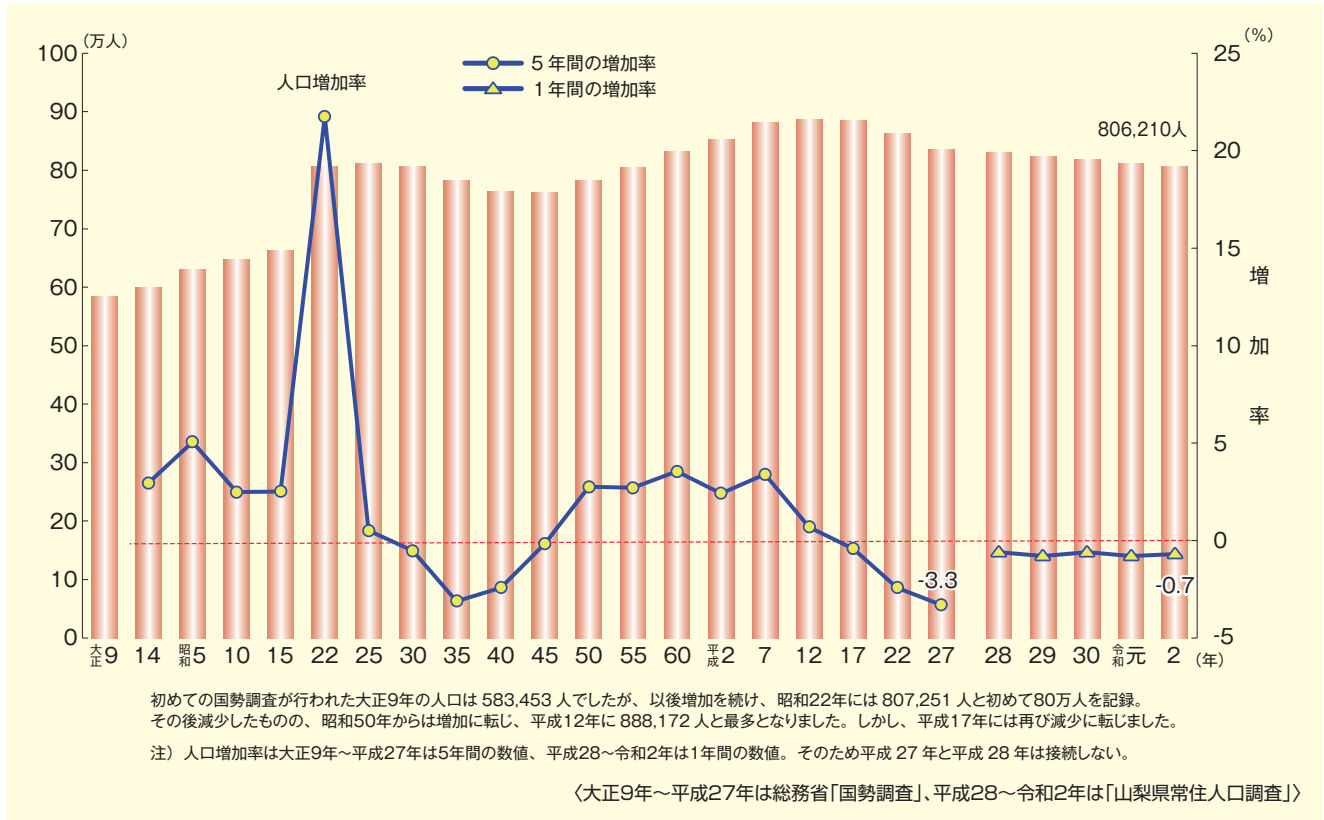


本県は、富士山をはじめ南アルプス、八ヶ岳、奥秩父などを擁する日本でも有数の山岳県ですが、これらの山々の中からハイキングを楽しめる身近な山から本格的な登山向きの山まで多種多様な山を選び「山梨百名山」として紹介しています。

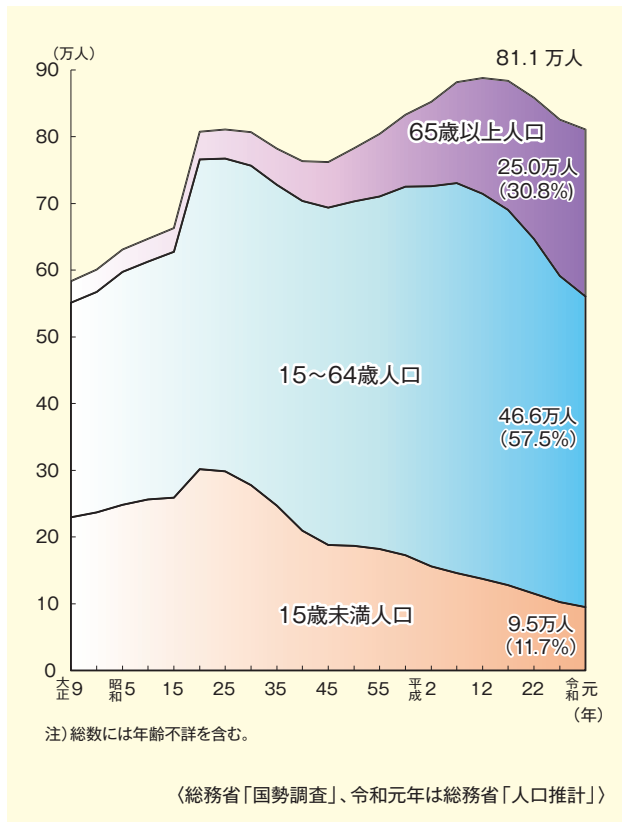
また、従来8月8日をやまなし「山の日」と定め、ふるさとの山や森を見つめ直し、その恩恵に感謝する日としてきました。平成28年からは8月11日が祝日「山の日」となり、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日となりました。

# 人口

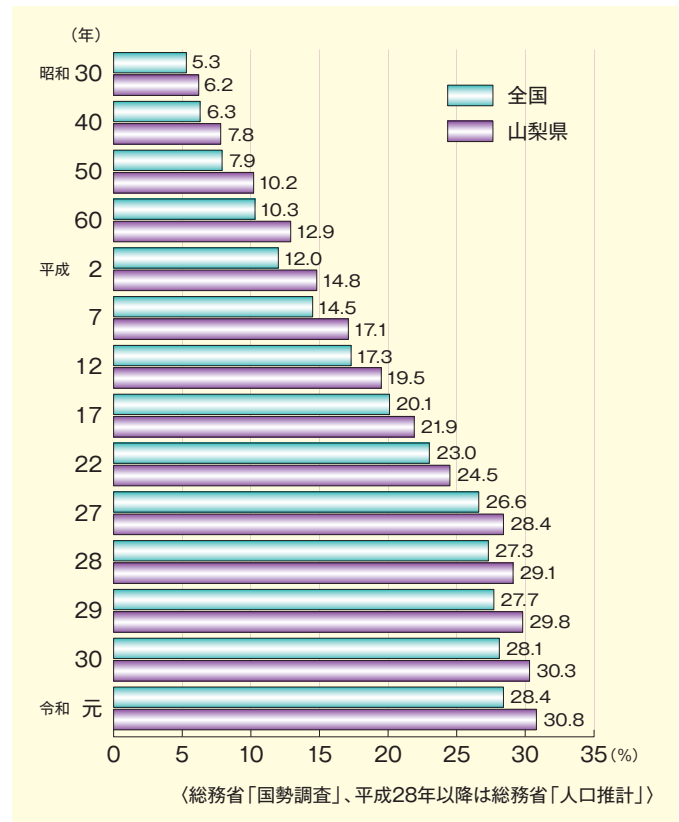
## 本県人口及び人口増加率の推移 (大正9年～令和2年)(人口は各年10月1日現在)



## 年齢別人口の推移 (大正9年～令和元年)



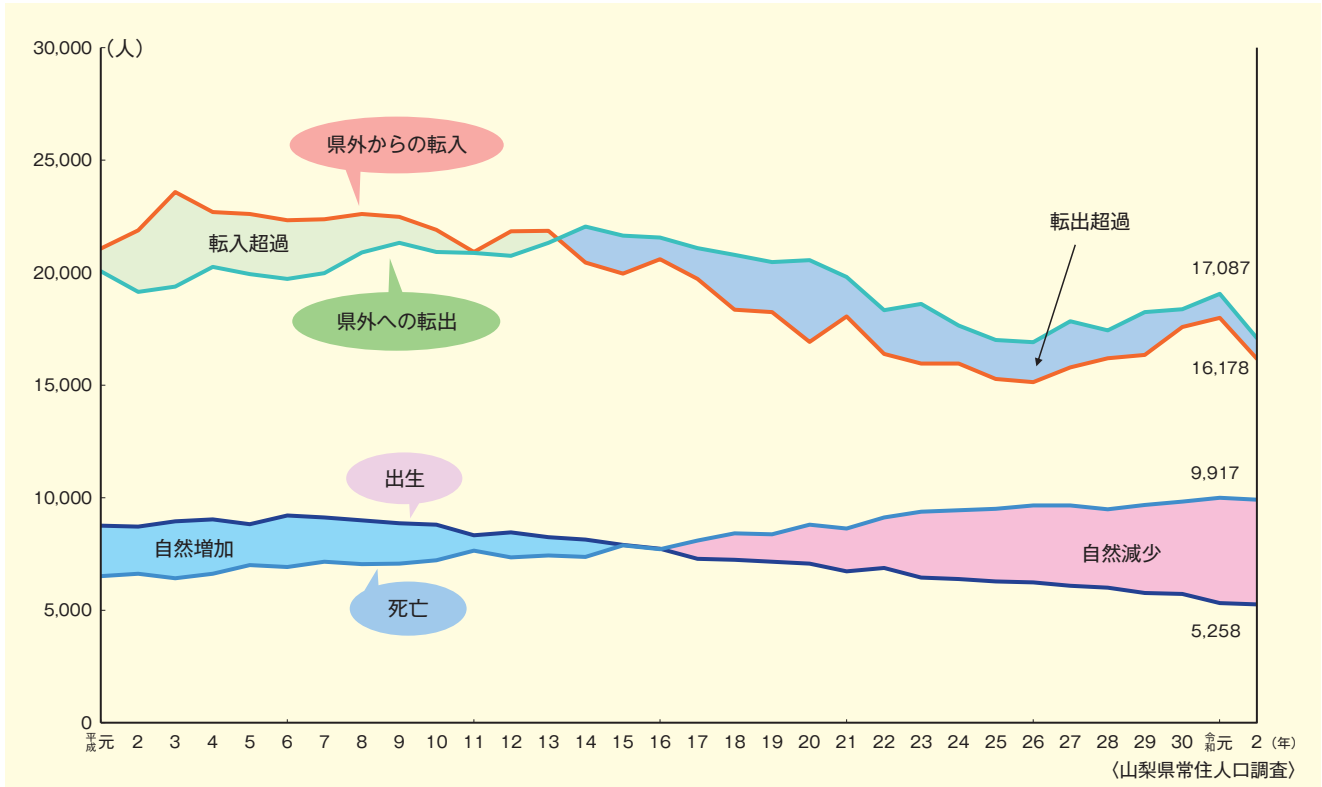
## 本県と全国の65歳以上人口割合の推移 (昭和30年～令和元年)



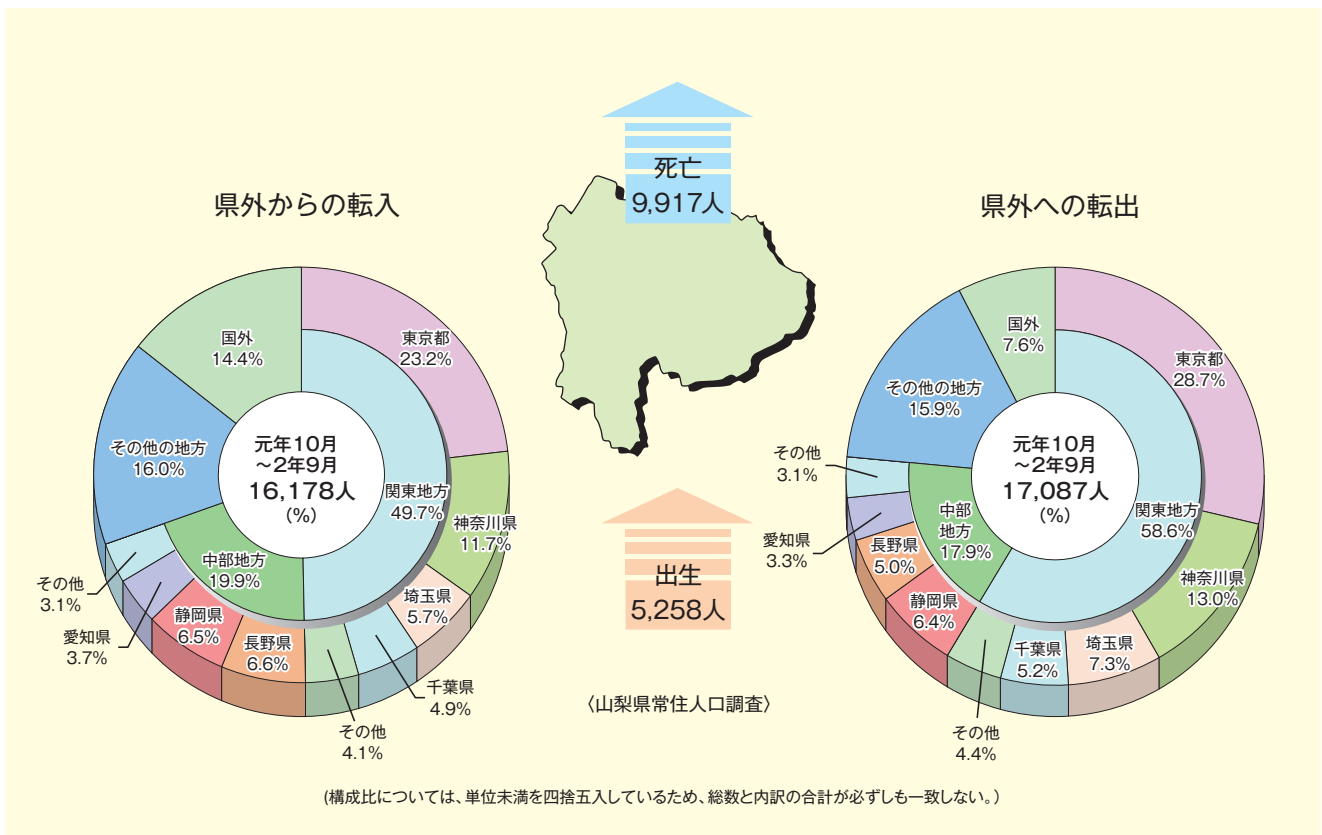
令和2年10月1日現在の人口は、80万6,210人となっています。

令和元年10月1日現在の人口を年齢別にみると、15歳未満人口9.5万人（11.7%）、15歳～64歳人口46.6万人（57.5%）、65歳以上人口25.0万人（30.8%）となっています。本県の65歳以上人口は、平成7年以降は15歳未満人口を上回ることとなり、令和元年では本県人口の4分の1を超えています。また、本県の65歳以上人口割合は、全国を上回る水準で推移しています。

人口動態の推移(各年ともに前年10月1日～当年9月30日)

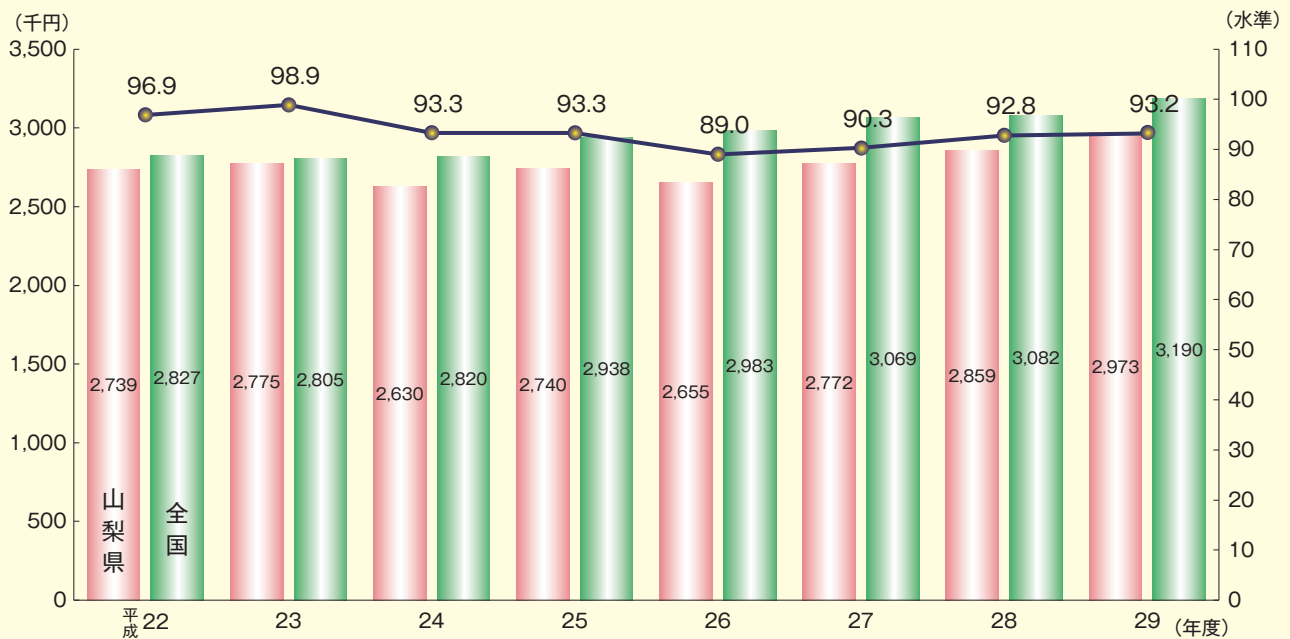


人口動態(令和元年10月1日～2年9月末)



令和元年10月1日から令和2年9月30日までの人口の動きをみると、出生5,258人、死亡9,917人で、4,659人の自然減となっています。また、県外からの転入者は16,178人、転出者は17,087人となっており、東京都、神奈川県への転入、転出が多くなっています。

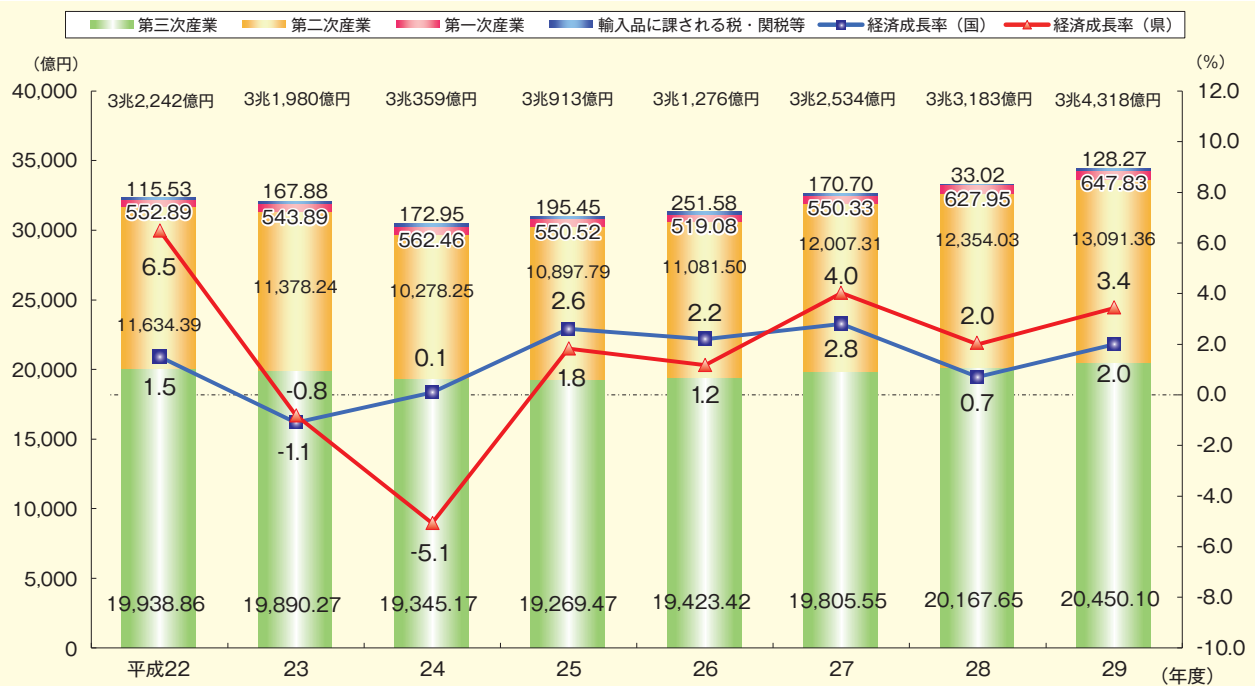
## 1人当たり県(国)民所得と全国との水準の推移



注) 1人当たり県民所得は、「県民雇用者報酬、財産所得、企業所得」により構成されている県民所得を総人口で除したものです。したがって個人の給与や実収入額などの比較はできません。  
折れ線グラフは1人当たり国民所得を100とした場合の県民所得の水準の推移です。

〈平成29年度県民経済計算〉

## 県内総生産の推移及び経済成長率の推移(名目)

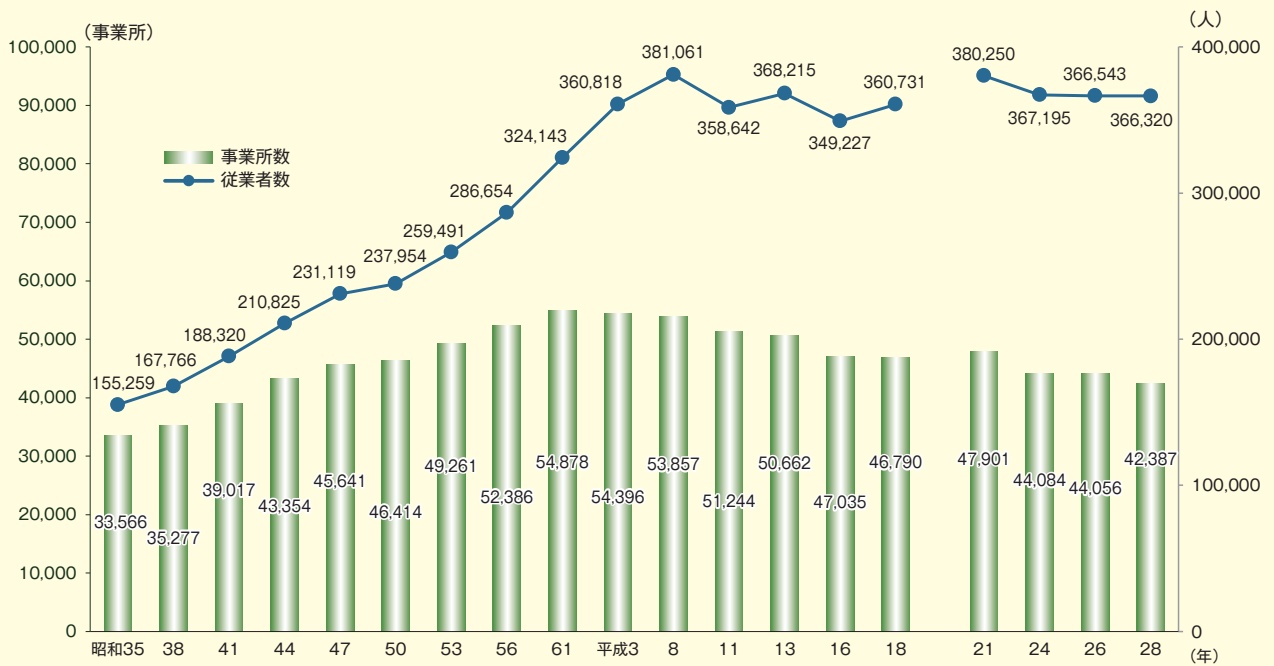


〈平成29年度県民経済計算〉

平成29年度の県内総生産は、名目で3兆4,318億円で、前年度に比べて3.4%（1,135億円）の増加となりました。  
1人当たり県民所得は2,973千円で、前年度に比べ11万4千円増加しました。また、1人当たり国民所得3,190千円を100とした水準は93.2となり、前年度に比べて0.4ポイント上昇しました。



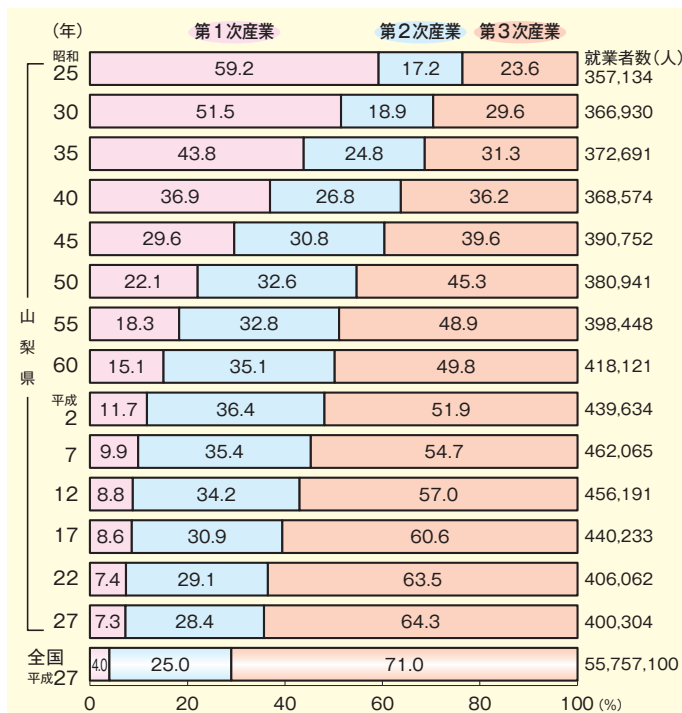
### 民営事業所数及び従業者数の推移



注) 事業内容等不詳事業所を除く。  
平成21年において、調査手法の変更があったため、平成18年と平成21年は接続しない。

(総務省「事業所・企業統計調査」)  
(平成21年から「経済センサス」)

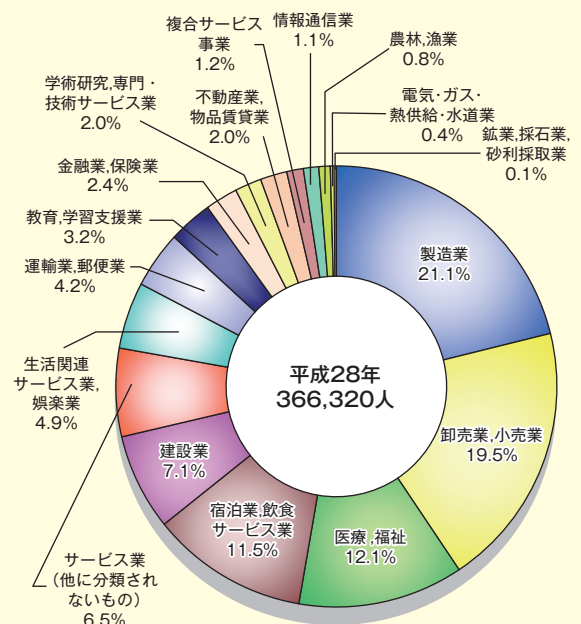
### 産業別(3部門)就業者数(構成比)の推移



(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。)

注) 分類不能の産業を除く。昭和25年には、14歳就業者を含む。(総務省「国勢調査」)

### 産業別従業者数構成比



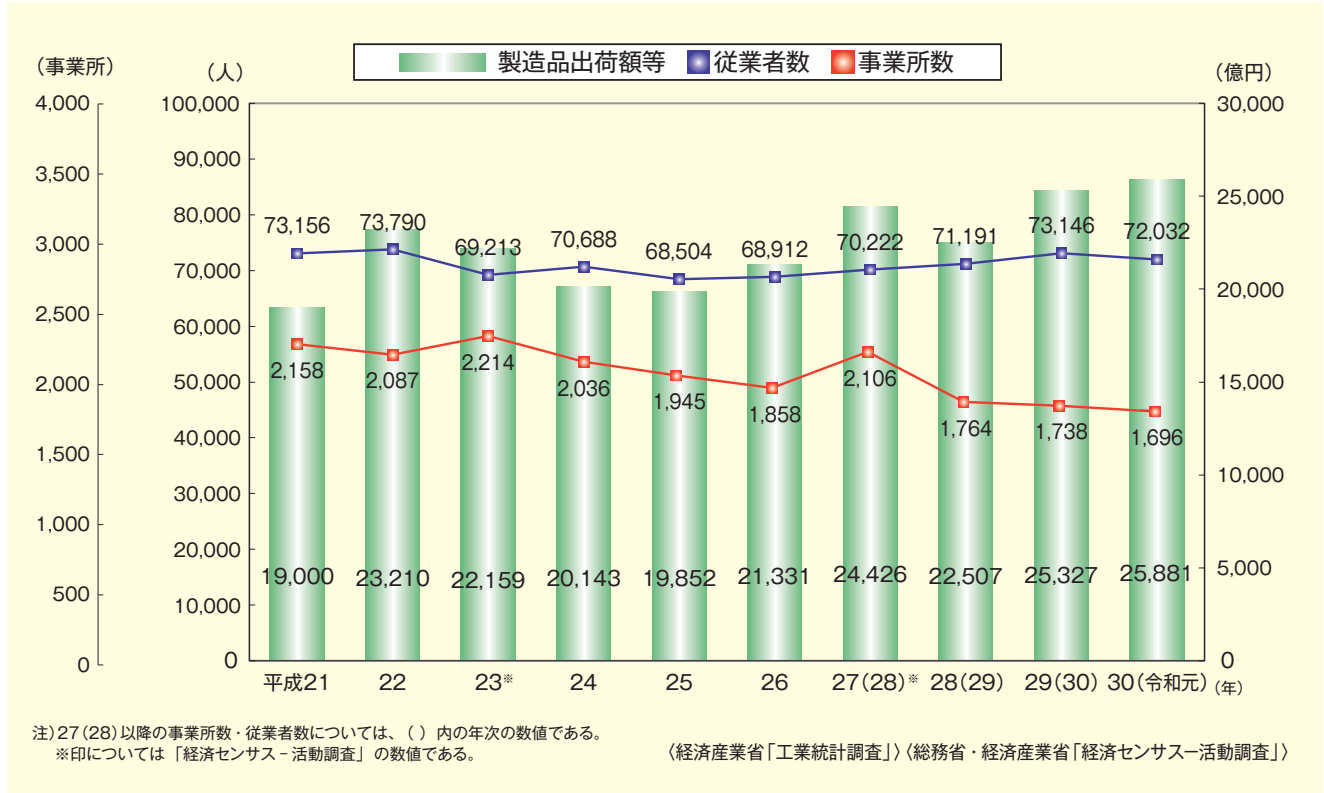
(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。)

(総務省・経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査」)

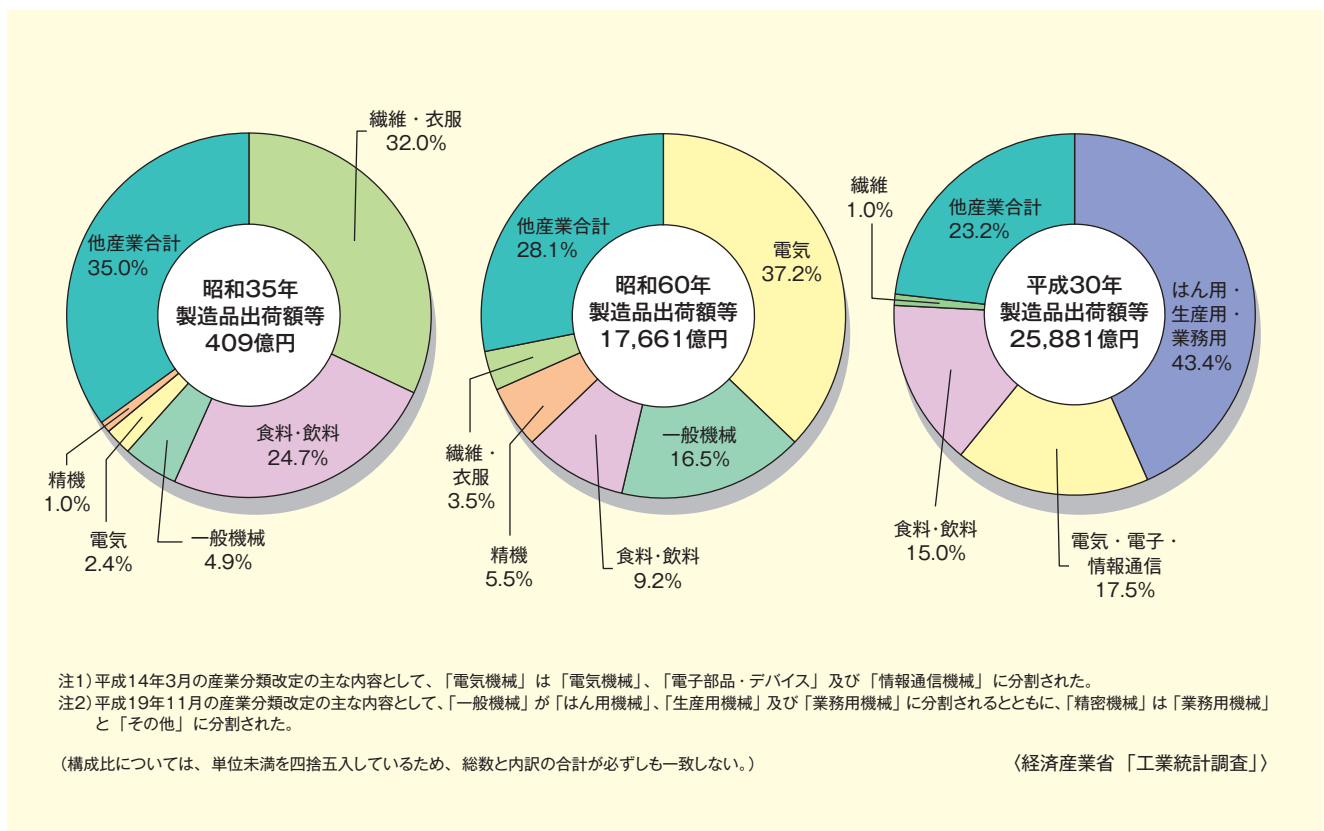
平成28年の事業所数は42,387事業所で、昭和61年までは増加してきましたが、その後減少しています。また、産業別従業者数構成比をみると、製造業21.1%、卸売業、小売業19.5%、医療、福祉12.1%の順となっています。本県の産業別就業者数をみると、昭和25年は、第1次産業が全体の59.2%を占めていましたが、平成27年は、第1次産業は7.3%にまで減少し、この間に第3次産業が23.6%から64.3%へと増加しています。

# 工業

## 製造業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移 (従業者4人以上の事業所)

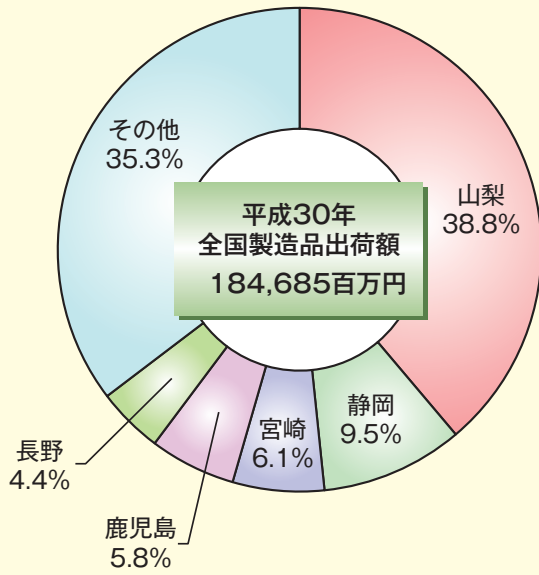


## 産業別製造品出荷額等の構成の変化 (従業者4人以上の事業所)



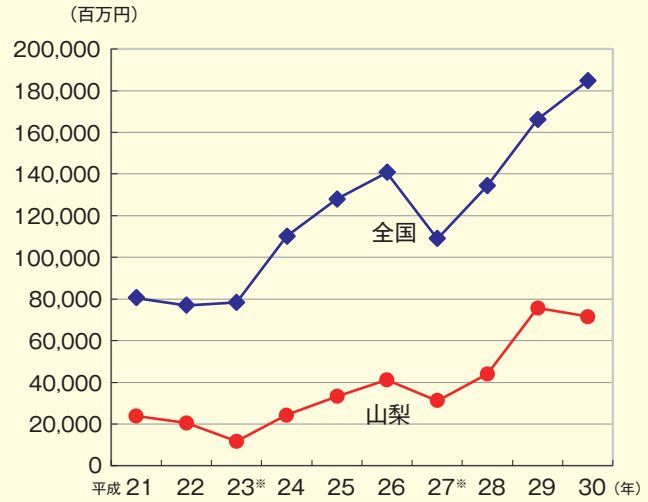
令和元年の従業者4人以上の製造業の事業所数は1,696事業所、従業者数は72,032人で、前年に比べ減少しましたが、平成30年一年間の製造品出荷額等は2兆5,881億円で、前年と比べ増加しました。  
 産業分類の改定により単純な比較はできませんが、産業分類別の製造品出荷額等をみると、昭和35年は繊維・衣服が全体の約3分の1を占めていました。平成30年は、はん用・生産用・業務用と電気・電子・情報通信の合計が全体の約6割を占めています。

製造品出荷額全国1位「ミネラルウォーター」出荷額の推移(従業者4人以上の事業所)



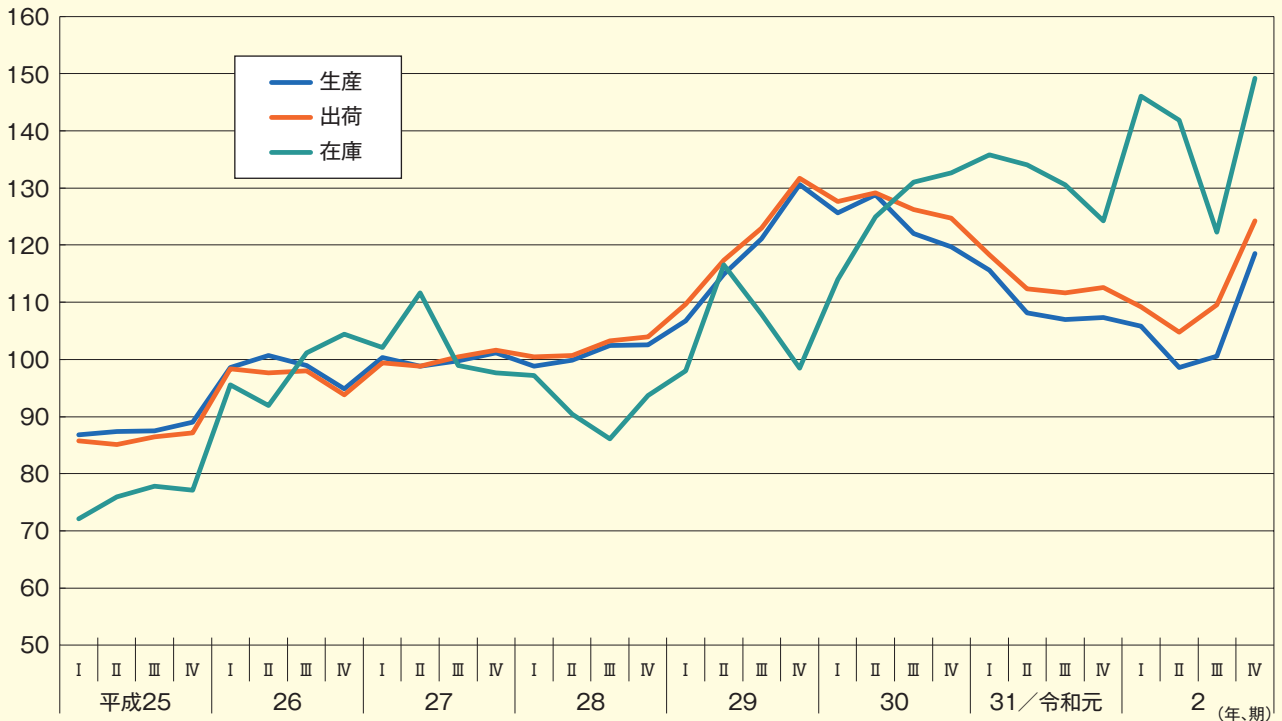
(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。)

注)「その他」には、数値非公表の県を含む。  
※印については「経済センサス-活動調査」の数値である。



(経済産業省「工業統計調査」)(総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」)

鉱工業指数の推移(平成27年=100 季節調整済)

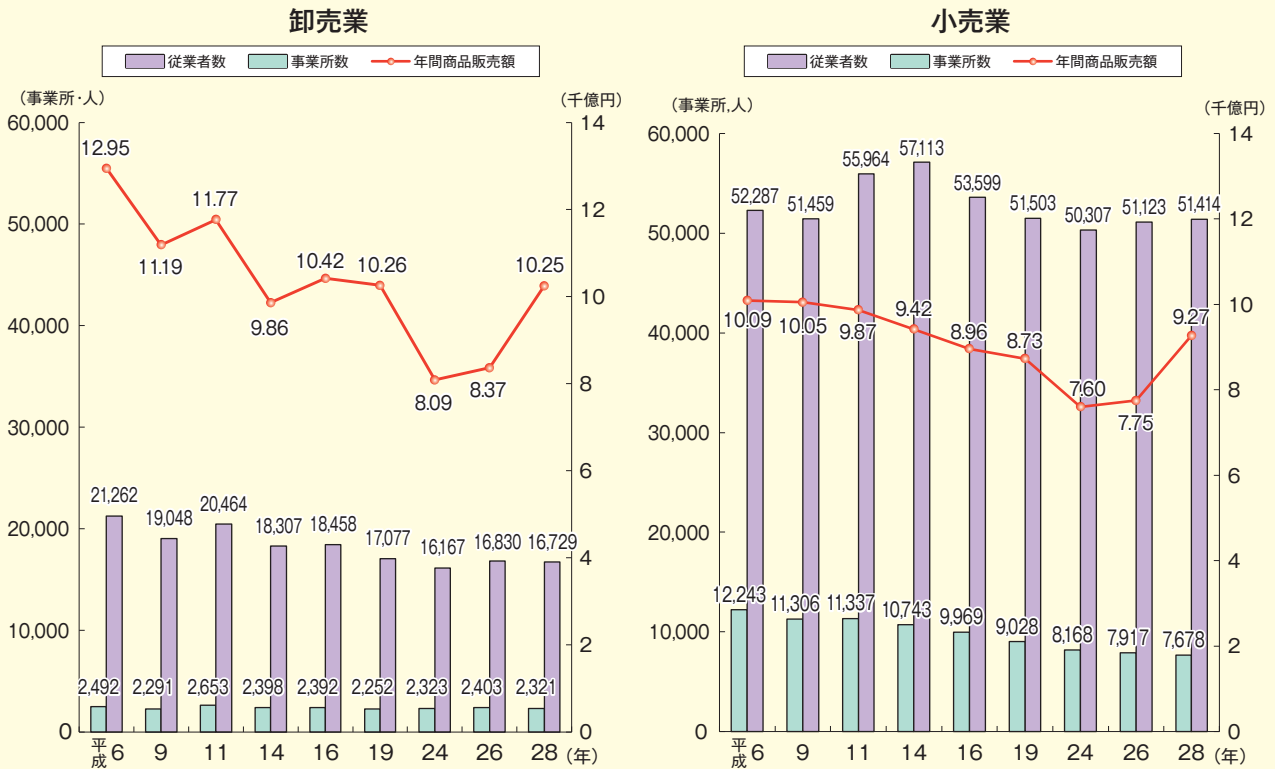


(山梨県鉱工業指数)

平成30年の品目別製造品出荷額をみると、本県はミネラルウォーターの出荷額が日本一となっており、全国の出荷額の38.8%を占めています。

鉱工業指数の推移をみると、生産及び出荷は、平成28年II期頃から上昇を続けていましたが、平成29年度IV期をピークにして低下傾向にあり、令和2年II期を境に上昇に転じています。

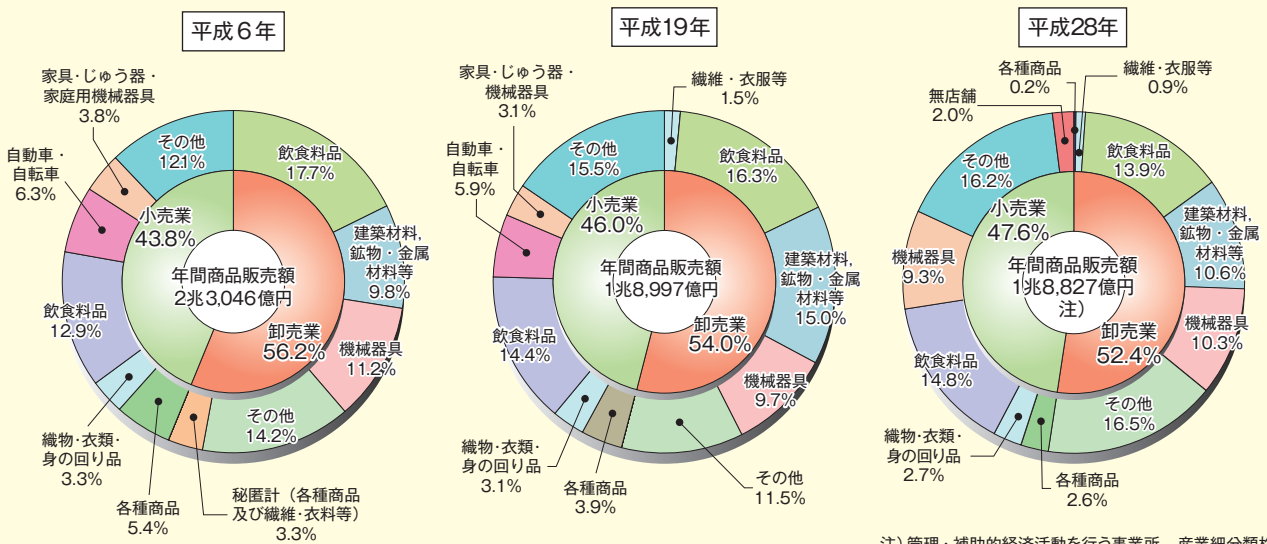
## 商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移



注) 平成19年以前及び平成26年の数値は商業統計調査、平成24年及び平成28年の数値は経済センサス-活動調査の数値である。  
平成24年、26年及び28年の数値は、管理・補助的経済活動を行う事業所、産業細分類の活付不能の事業所等を含む。

〈経済産業省「商業統計調査」〉  
〈総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」〉

## 業種別年間商品販売額構成比の推移



注) 管理・補助的経済活動を行う事業所、産業細分類格付不能の事業所等を含まない数値のため、「商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移」の数値とは合致しない。

〈経済産業省「商業統計調査」〉

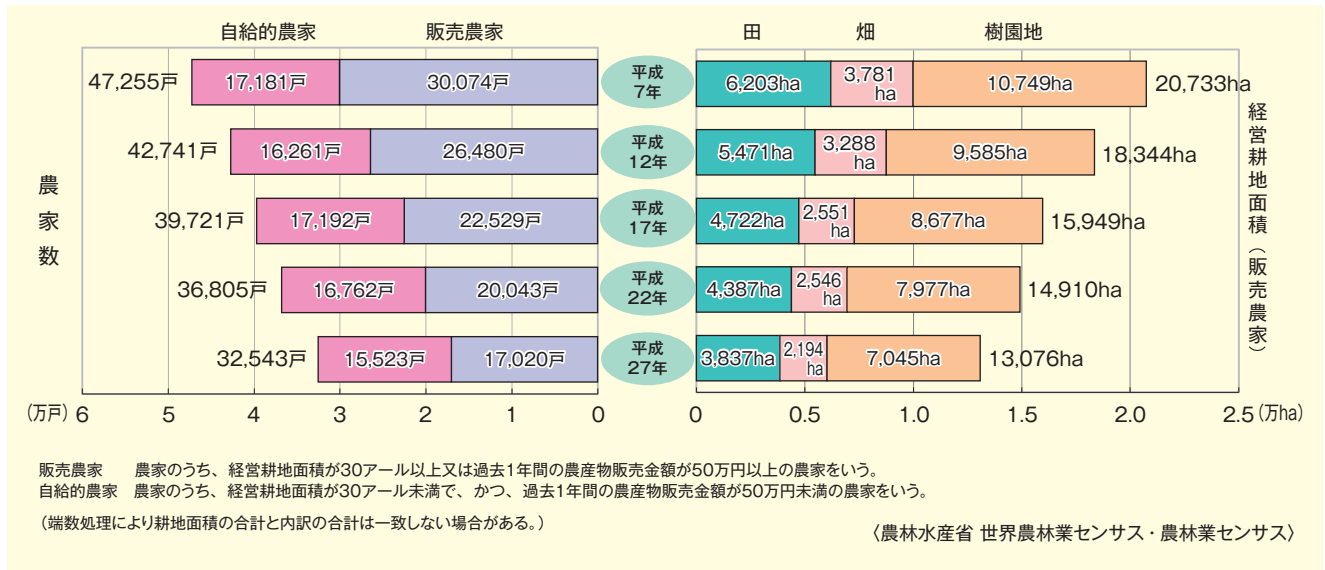
〈経済産業省「商業統計調査」〉

〈総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」〉

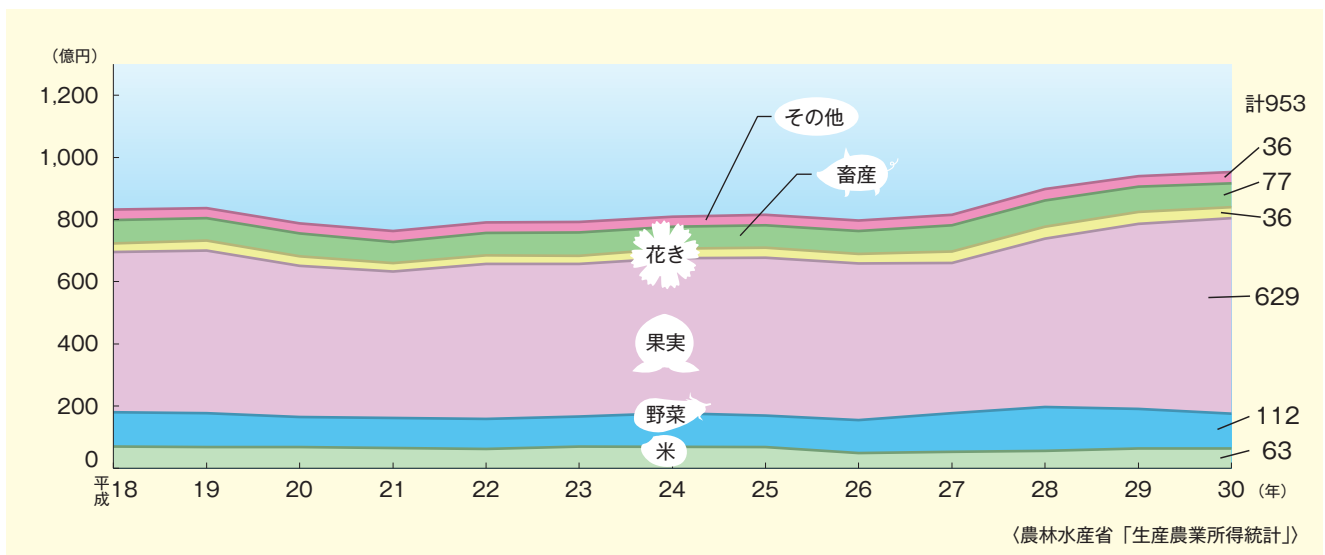
(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。)

平成28年の卸・小売業数は9,999事業所、従業者数は68,143人、年間商品販売額は1兆9,526億円となっています。業種別年間商品販売額の構成比の推移をみると、卸売業の割合が減少しています。平成28年では新たな業態である無店舗小売業が2.0%となっています。

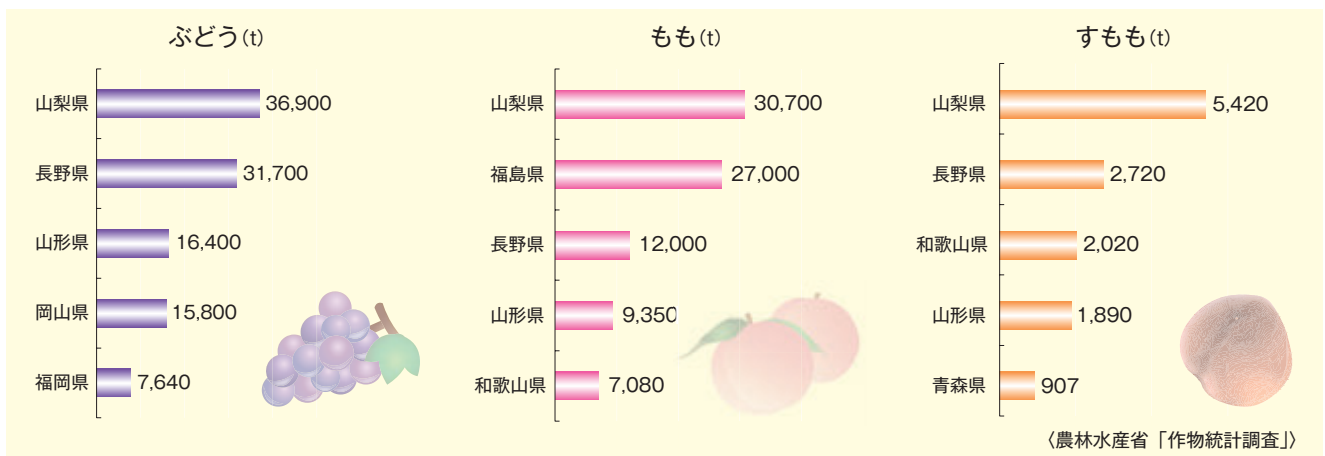
### 農家数及び経営耕地面積(販売農家)の推移



### 農業産出額の推移



### ぶどう・もも・すももの収穫量(令和元年)

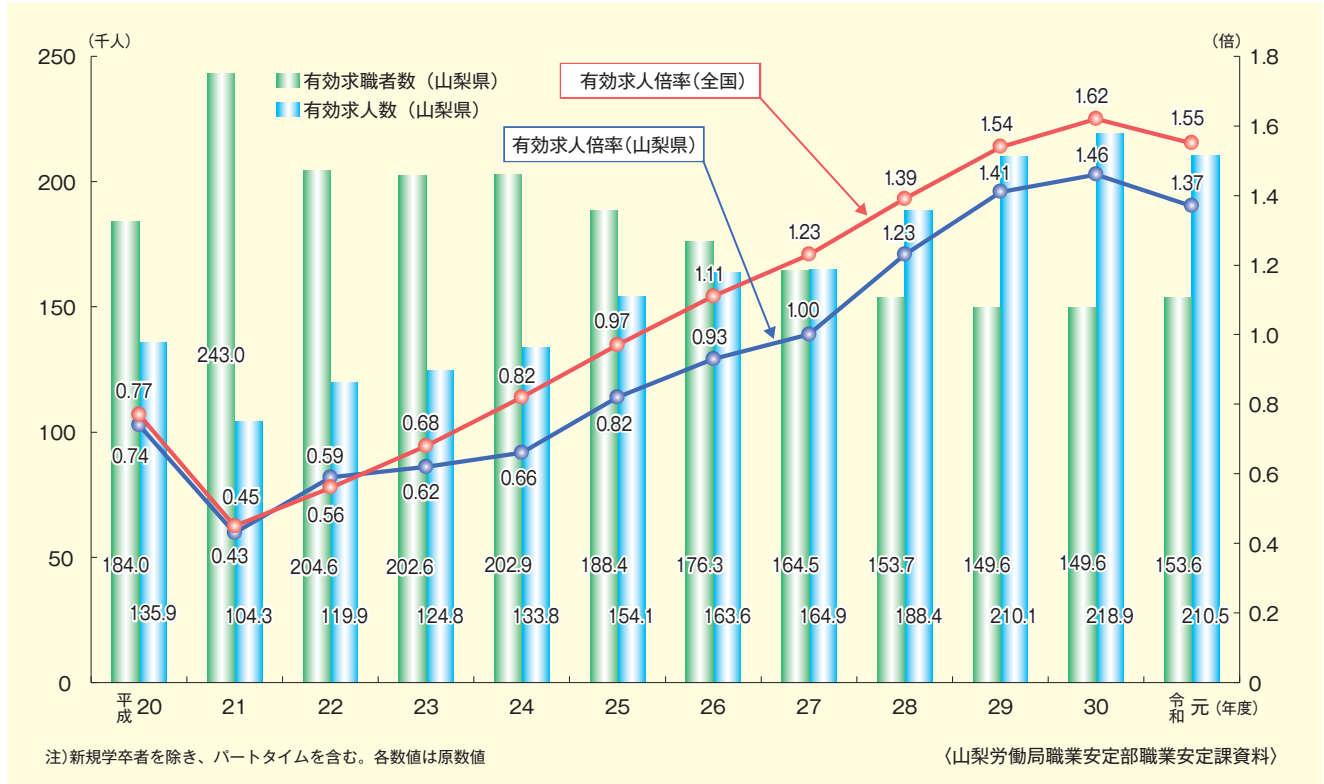


平成27年の本県の農家数及び経営耕地面積(販売農家)は、それぞれ32,543戸、13,076haで、平成22年と比べ農家数で4,262戸、経営耕地面積で1,834ha減少しています。

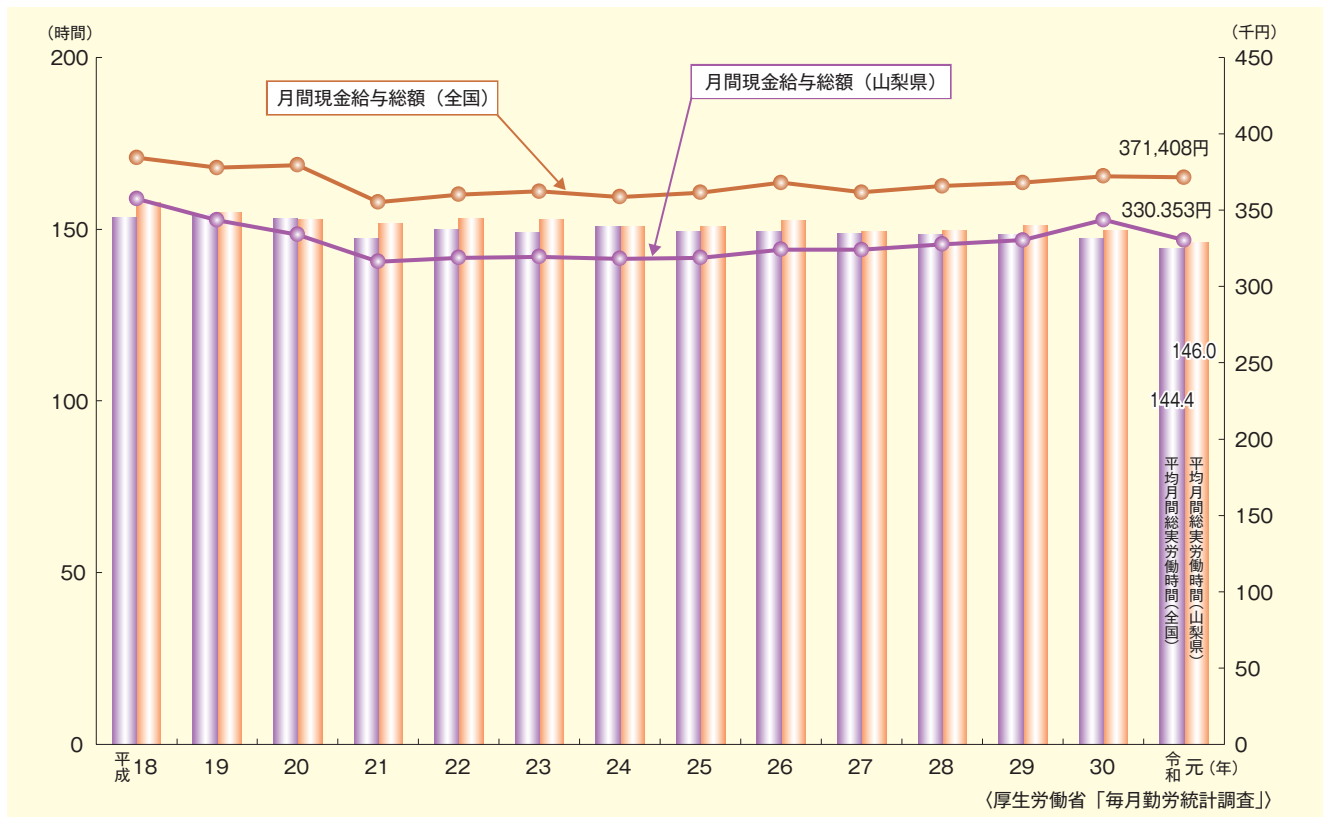
平成30年の農業産出額の割合は、果実が全体の66.0%を占め、次いで野菜11.8%、畜産8.1%、米6.6%、花き3.8%の順となっています。また、果実のうち「ぶどう」「もも」「すもも」の収穫量は、日本一となっています。

# 労働

## 有効求人倍率・求職者数・求人数の推移



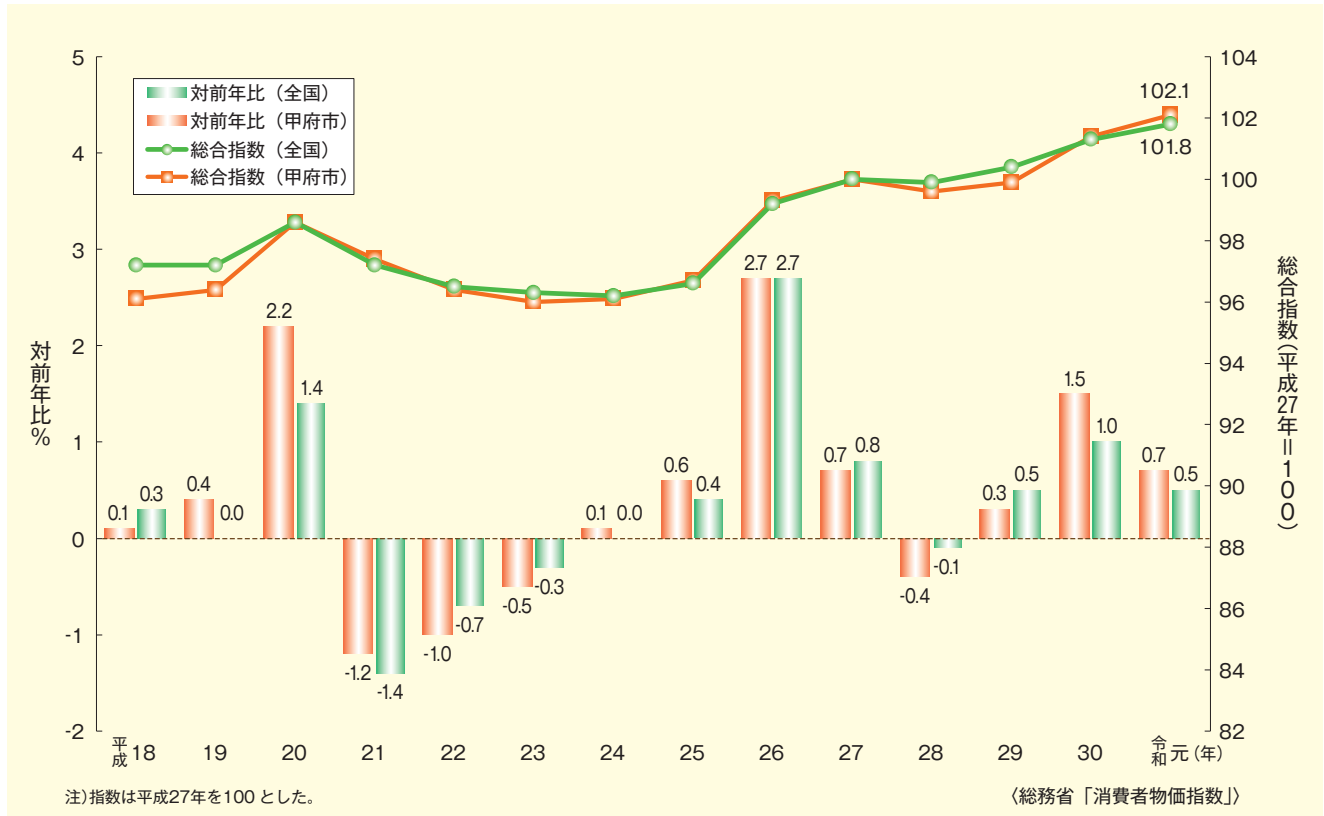
## 労働者1人当たり平均月間総実労働時間と現金給与総額の推移(30人以上の事業所)



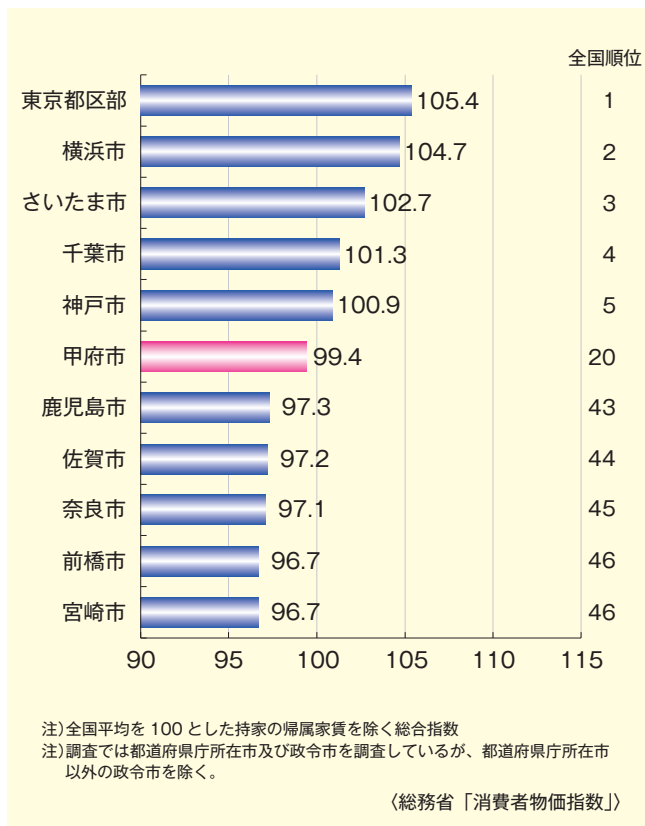
令和元年度の有効求職者数は、15万3,637人で、前年に比べて4,008人(2.7%)増加、有効求人数は、21万461人で、前年に比べて8,479人(3.9%)減少、有効求人倍率は1.37倍で、前年に比べて0.09ポイントの低下となりました。

令和元年の労働時間は、労働者1人当たりの平均月間総実労働時間146.0時間で、全国平均の144.4時間を1.6時間上回っています。一方、月間現金給与総額は、330,353円で全国平均の371,408円を41,055円下回っています。

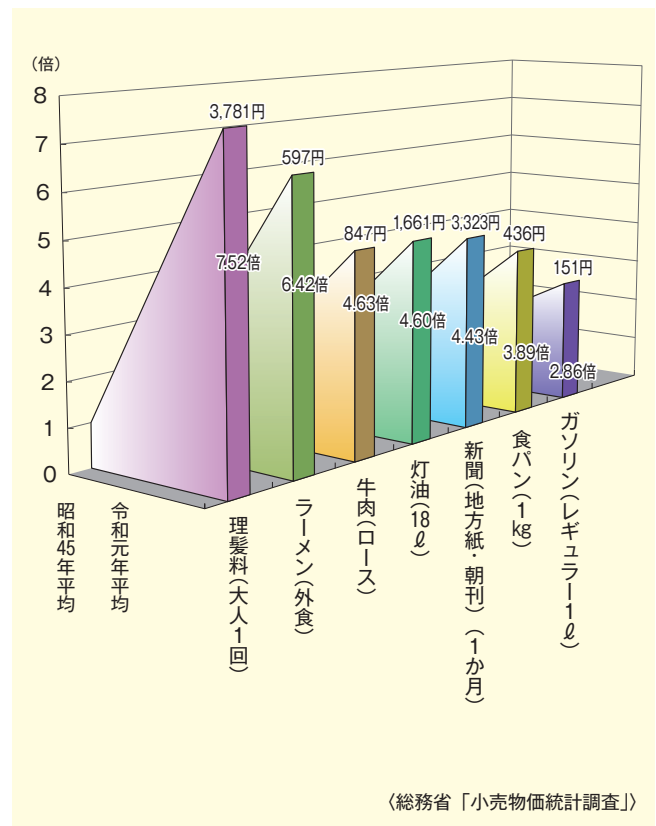
## 消費者物価指数の推移 (各年平均)



## 消費者物価地域差指数 (令和元年平均)



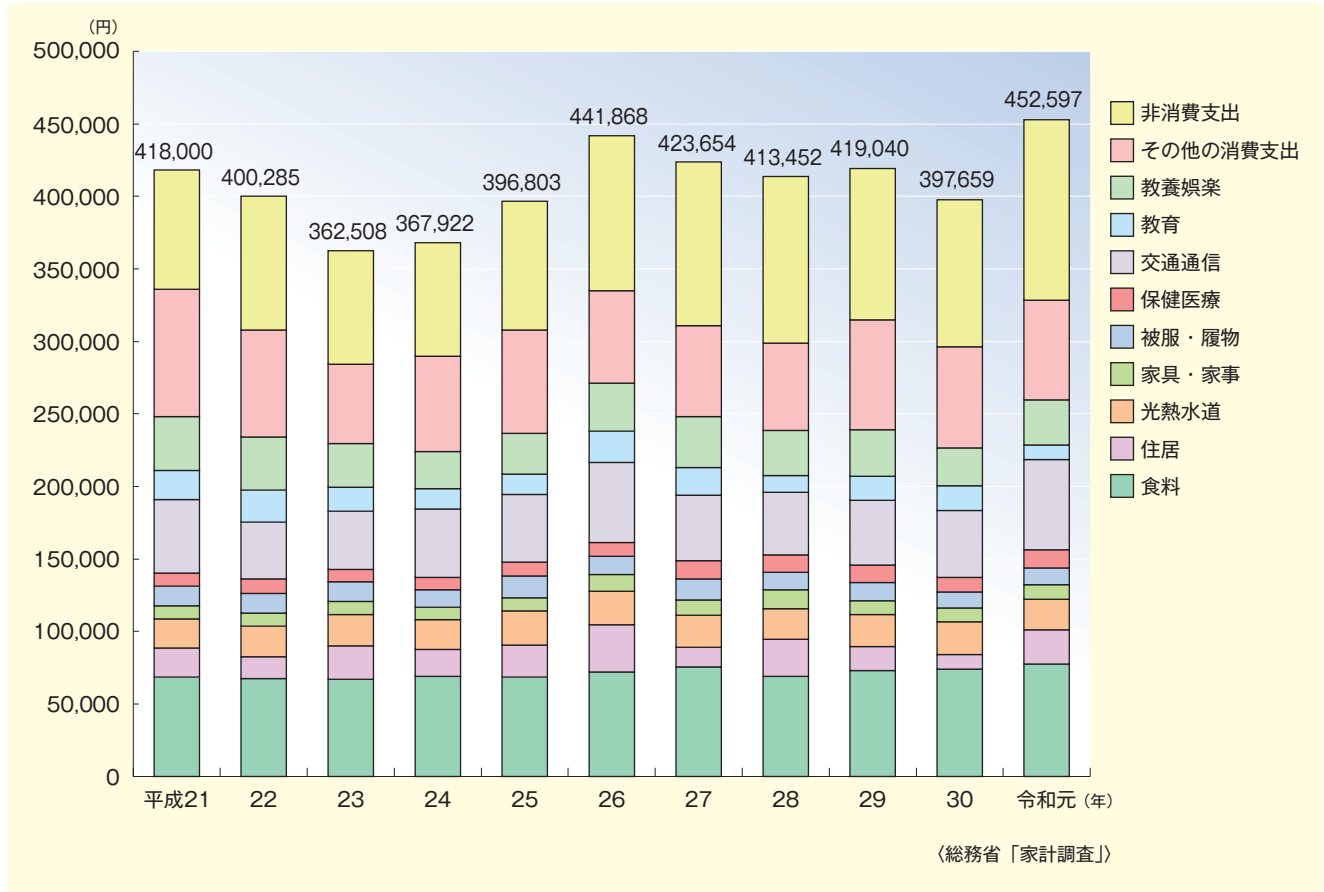
## 令和元年と昭和45年の小売物価の比較 (甲府市)



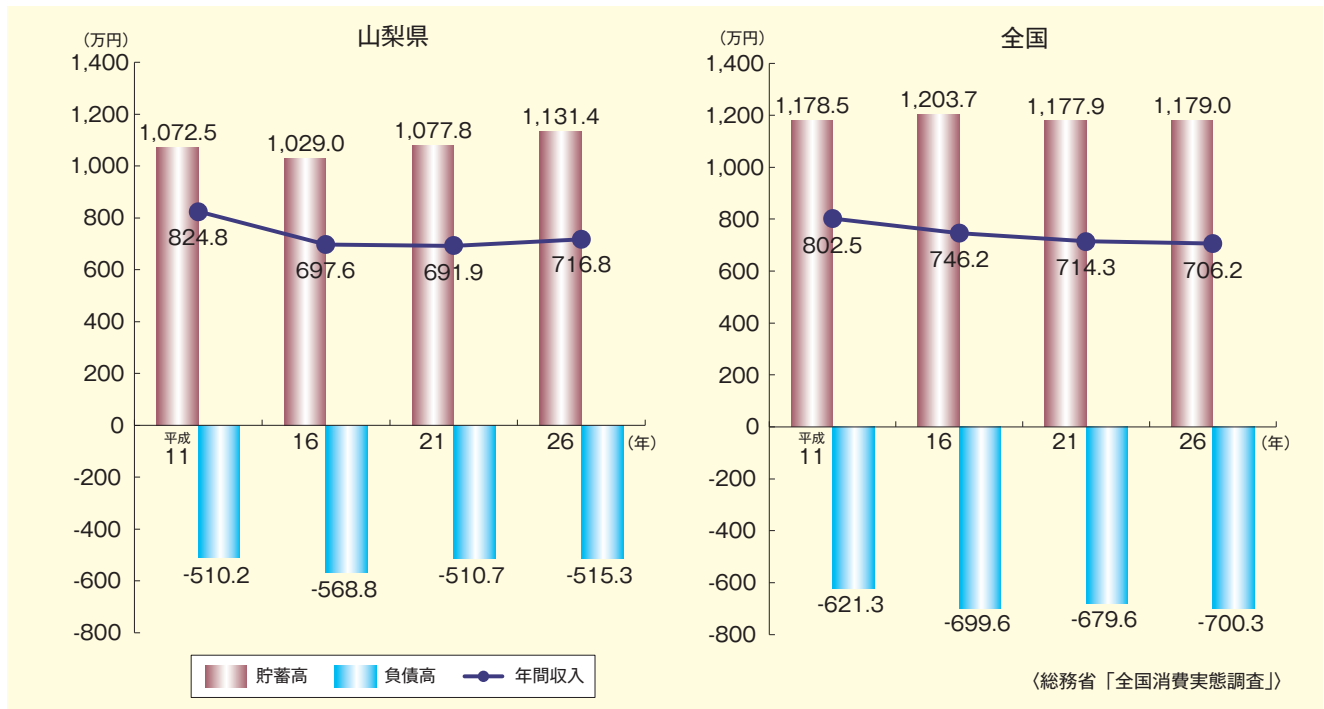
令和元年平均の甲府市の物価全体の変動を示す総合指数は、102.1 (平成27年=100)となりました。物価水準の地域間の格差を示す地域差指数は99.4 (全国平均=100)となり、物価水準の最も高い東京都都区部に比べ6.0ポイント低くなっています。令和元年平均の小売価格を昭和45年平均と比較すると、理髪料は7.52倍、ラーメン (外食) は6.42倍、牛肉 (ロース) は4.63倍などとなっています。

# 家計

## 勤労者世帯1世帯当たり1か月間の支出(甲府市)



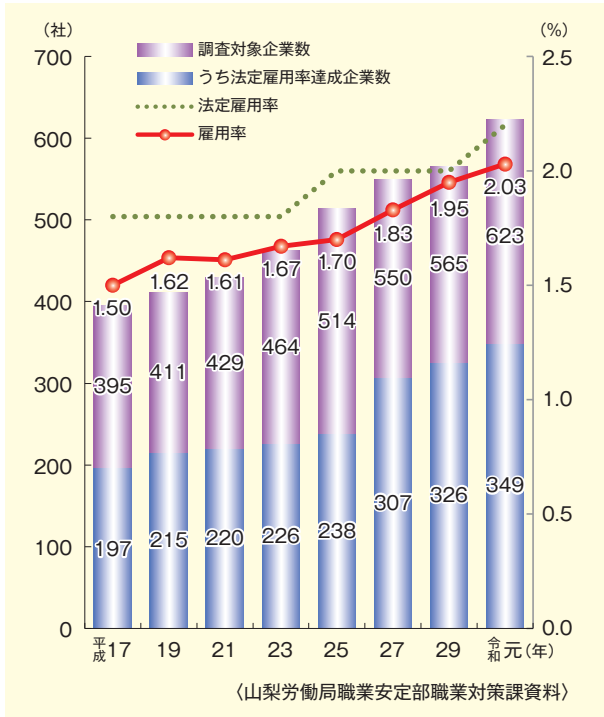
## 勤労者世帯1世帯当たり年間収入・貯蓄・負債残高の推移(各年11月末日現在)



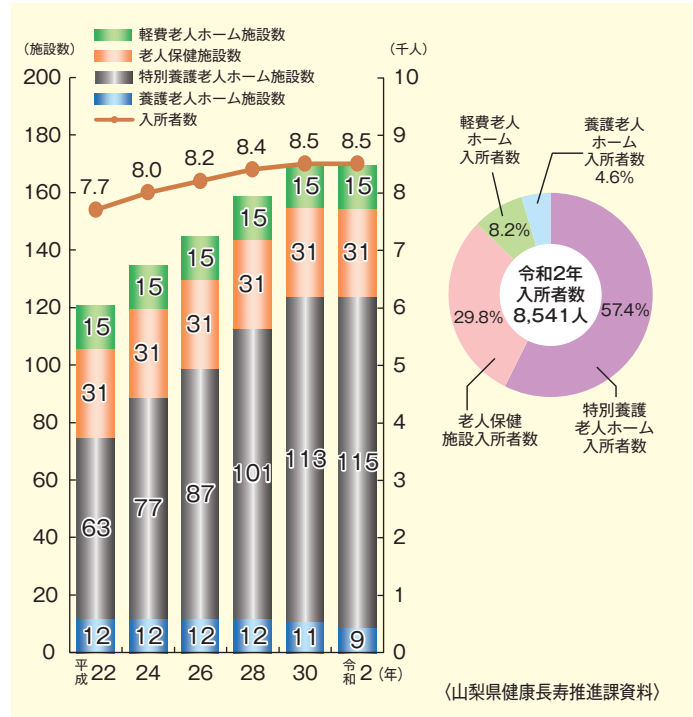
令和元年の甲府市における勤労者世帯1世帯当たり1か月間の実支出は452,597円で、所得税、住民税、年金掛金、健康保険料などの非消費支出が27.5%（124,275円）、消費支出は全体の72.5%（328,322円）となっています。  
平成26年における山梨県の勤労者世帯1世帯当たりの貯蓄現在高は1,131万4千円、負債現在高は515万3千円となっています。



障害者雇用率等の推移(民間企業)(各年6月1日現在)

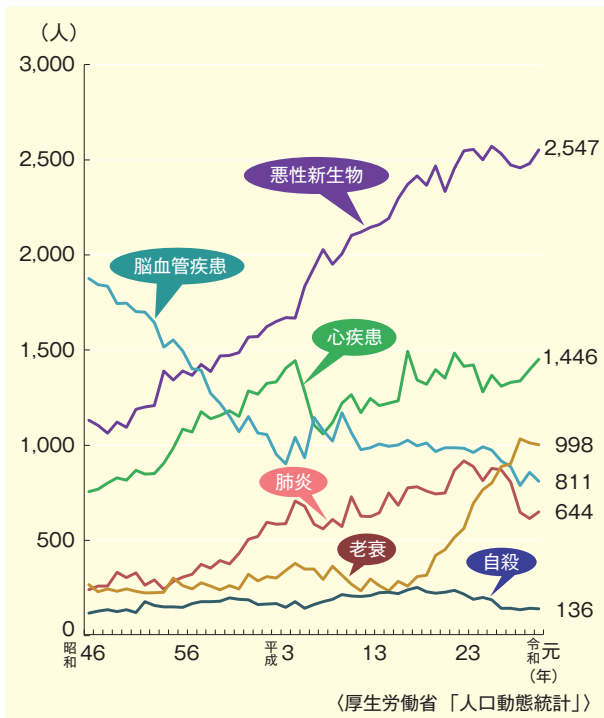


老人関係施設入所者数の推移(各年8月1日現在)

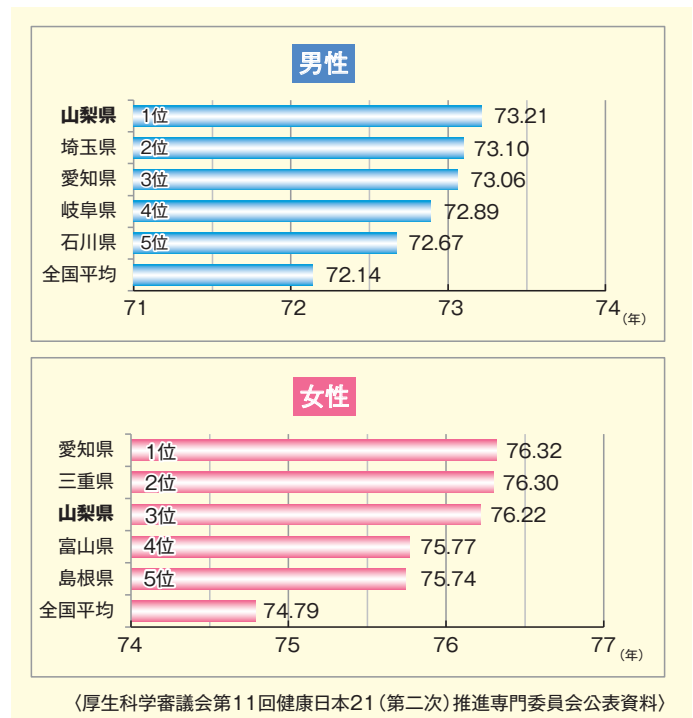


本県の障害者雇用率は令和元年6月1日現在2.03%であり、法定雇用率の2.2%を0.17ポイント下回っています。また、法定雇用率を達成している企業は349社で、達成率は56.0%となっています。  
令和2年8月1日現在の老人関係施設の入所者数は8,541人で、2年前より4人増加しています。また、施設数は170施設で、平成22年と比べると49施設 (40.5%) 増加しています。

主な死因別死亡者数の推移

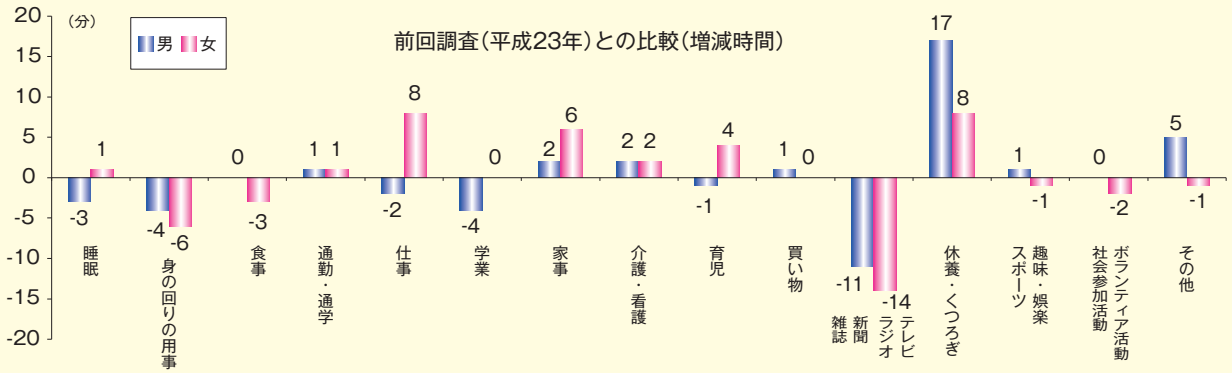
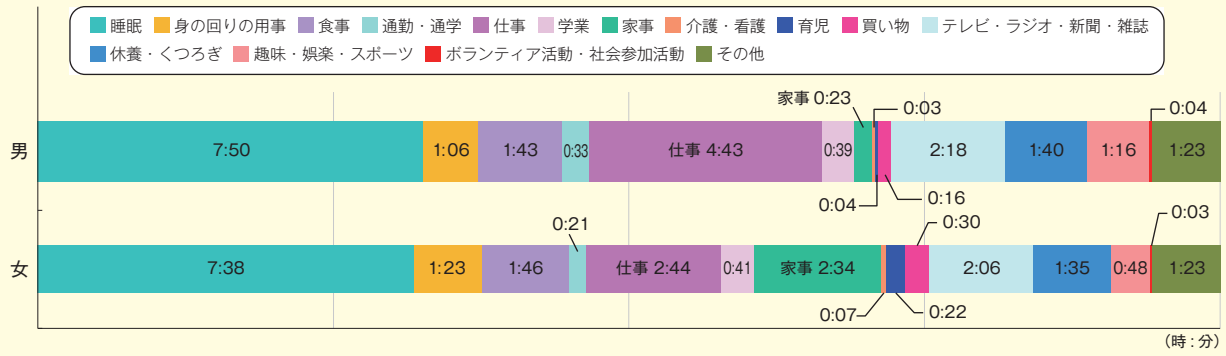


健康寿命(平成28年)



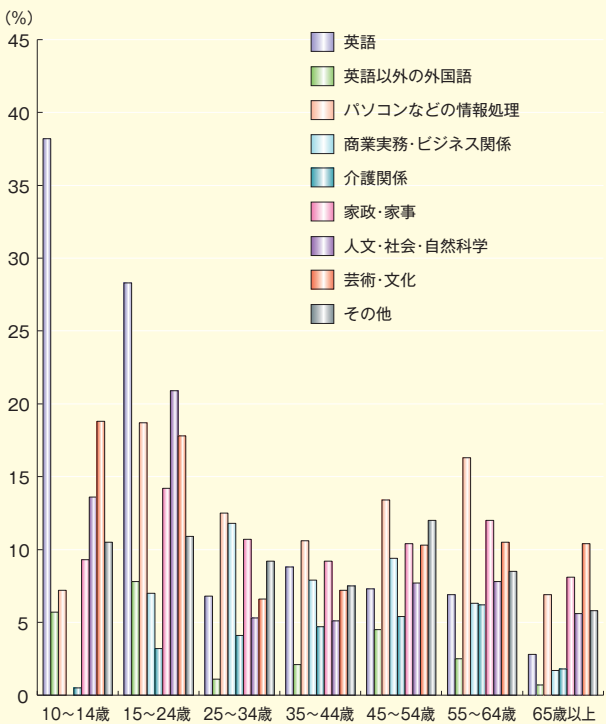
令和元年の本県の死亡者を主な死因別にみると、悪性新生物、心疾患、老衰の順となっています。  
本県の健康寿命は、男性73.21年で全国平均72.14年を上回り全国第1位、女性76.22年で全国平均74.79年を上回り全国第3位です。(健康寿命とは、国の健康増進計画である健康日本21(第二次)において、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されています。)

## 生活行動の種類別平均時間



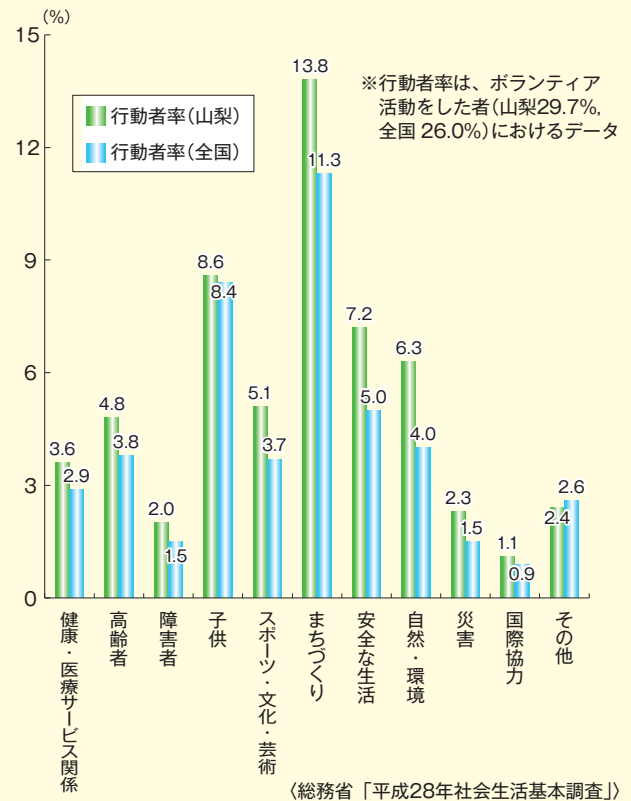
〈総務省「平成28年社会生活基本調査」〉

## 学習・自己啓発・訓練の行動者率



〈総務省「平成28年社会生活基本調査」〉

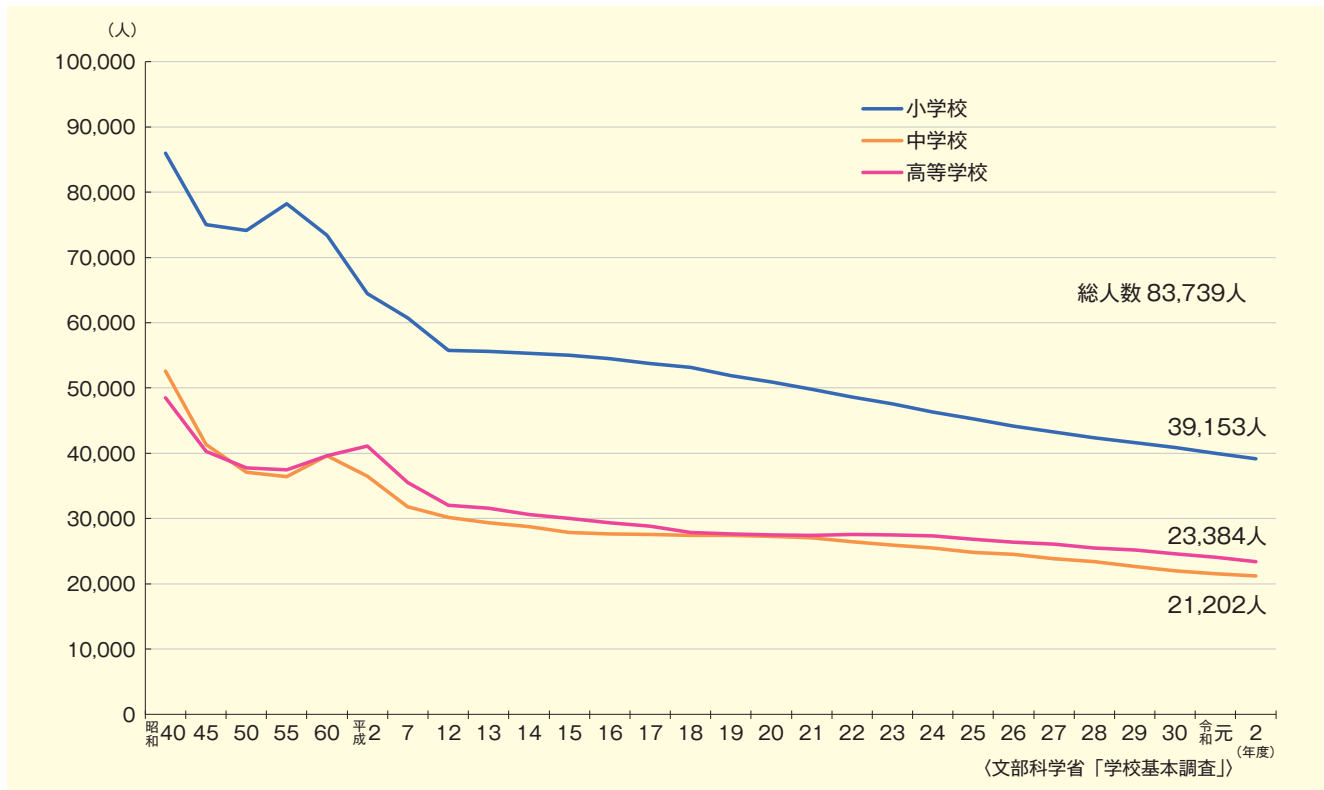
## ボランティア活動



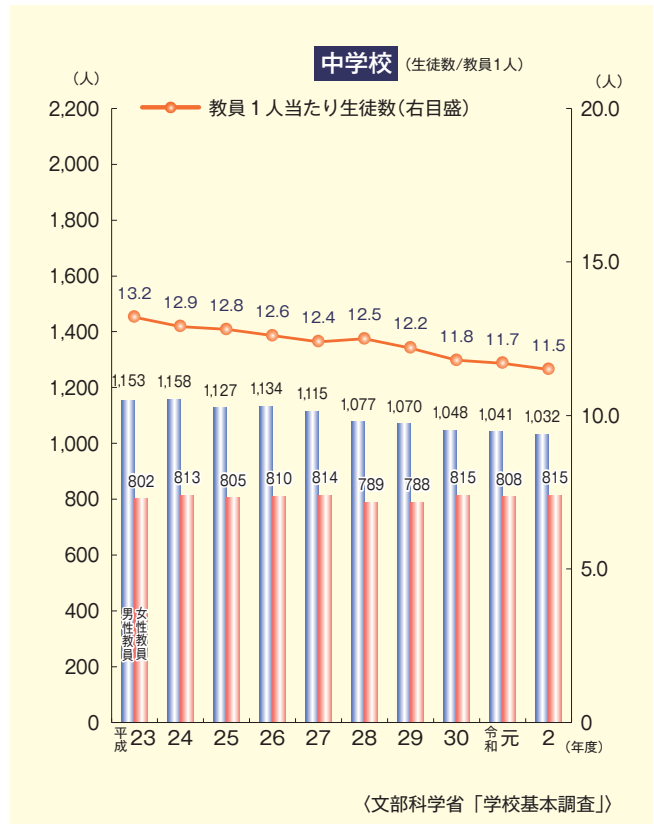
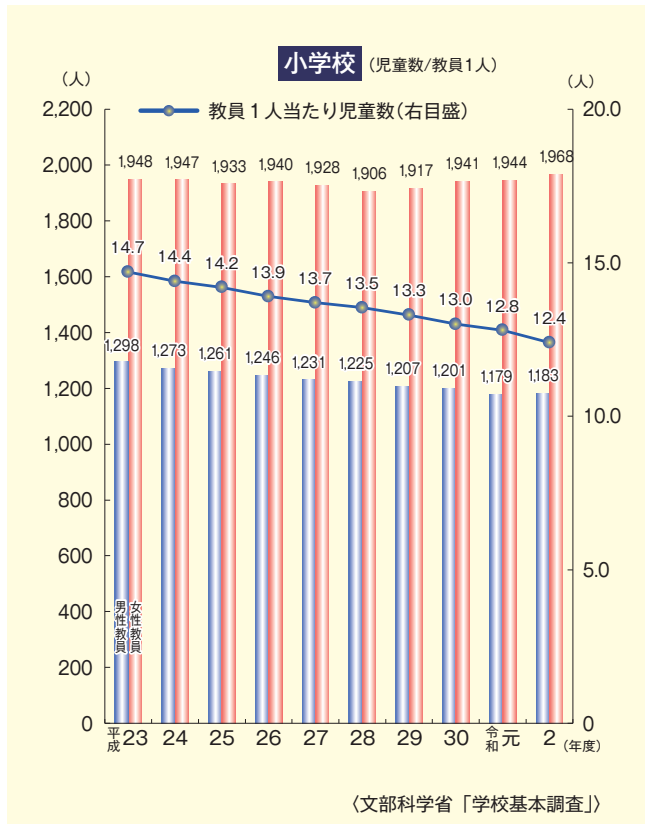
〈総務省「平成28年社会生活基本調査」〉

県内に住む10歳以上の男女の生活行動時間をみると、男性は仕事に費やす時間が、女性は家事に費やす時間が多くなっていますが、前回調査時（平成23年）と比べると、男性の仕事に費やす時間は2分短く、女性の家事に費やす時間は6分長くなっています。学習・自己啓発・訓練の行動者率を年齢階級別でみると、全ての年齢階級で前回（平成23年）調査以上の率となっています。ボランティア活動の行動者率は29.7%となっており、その他を除くすべての種類で全国を上回っています。

児童・生徒数の推移(各年5月1日現在)

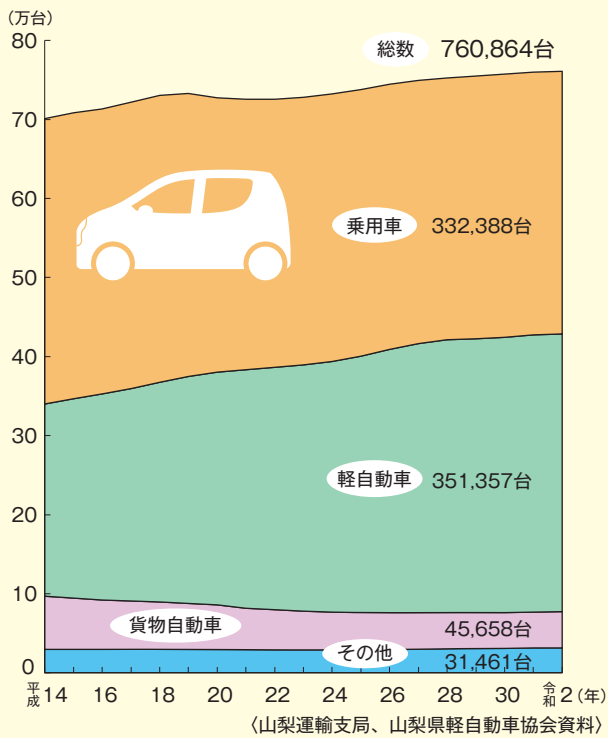


教員数と教員1人当たりの児童・生徒数の推移

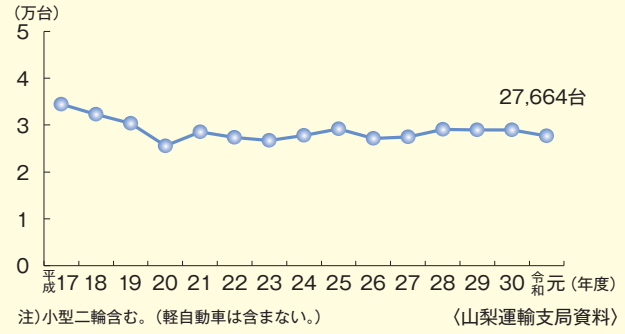


令和2年5月1日現在の児童・生徒数は、小学生39,153人、中学生21,202人、高校生23,384人となっており、児童・生徒数は、前年度に比べて減少しています。また、教員1人当たりの児童・生徒数は、小学校で12.4人、中学校で11.5人となっています。

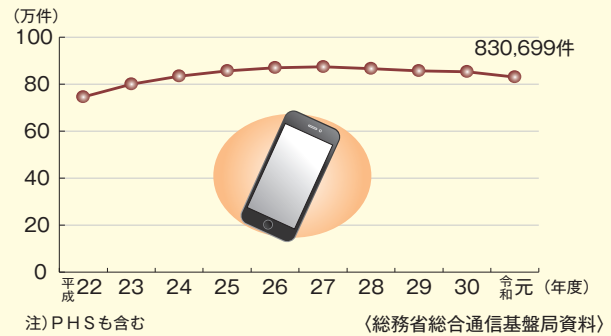
## 自動車保有台数の推移 (各年3月末日現在)



## 自動車新規登録台数の推移

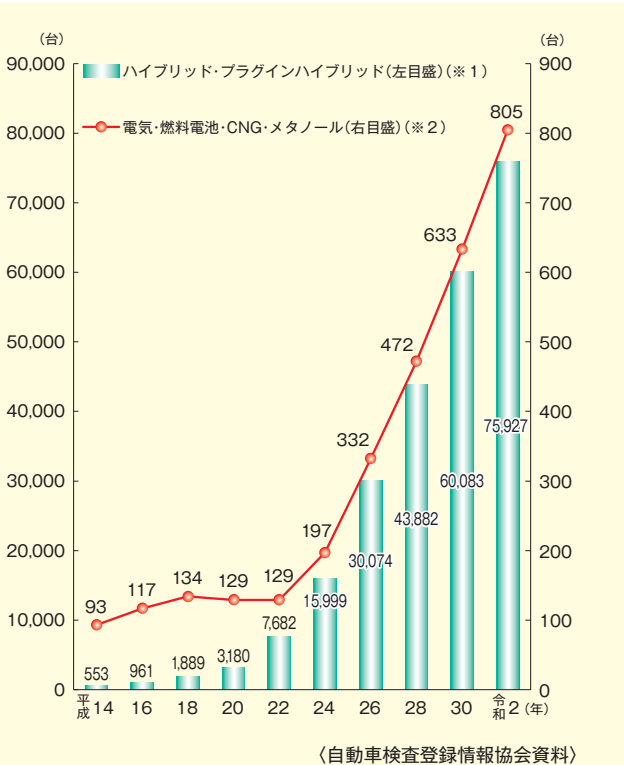


## 携帯電話契約数の推移

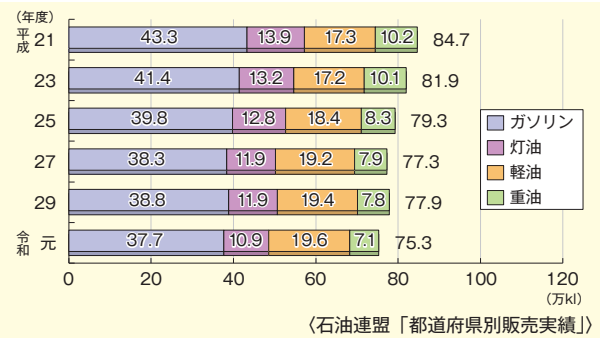


令和2年3月31日現在の県内の自動車保有台数は760,864台で、2年前に比べて3,318台増加しています。自動車新規登録台数は、27,664台で前年に比べ1,337台減少しています。令和2年3月31日現在の携帯電話・PHS契約数は830,699件で、前年に比べ21,513件減少しました。

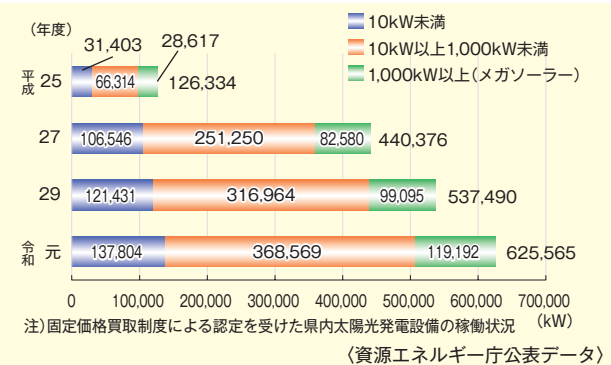
## 低公害車保有台数の推移 (各年3月末日現在)



## 燃料油販売量の推移

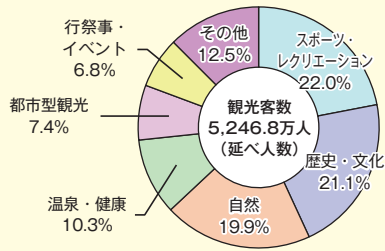


## 太陽光発電設備稼働状況(屋根置き含む)



令和2年3月31日現在の低公害車保有台数は、ハイブリッド・プラグインハイブリッドの合計※1が75,927台、電気・燃料電池・CNG・メタノールの合計※2が805台で、2年前に比べ※1は15,844台(26.4%)、※2は172台(27.2%)増加しています。令和元年度の太陽光発電設備の稼働状況は625,565kWで、平成25年度に比べ499,231kW、約5倍に増加しています。

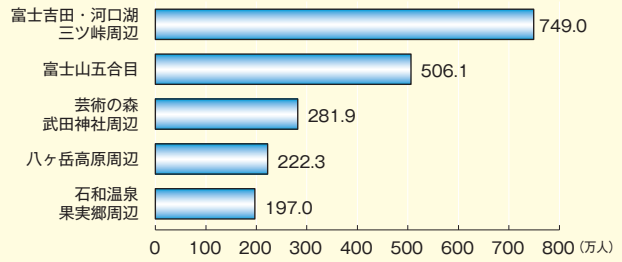
### 観光分類別観光客数の割合



〈令和元年山梨県観光入込客統計調査〉

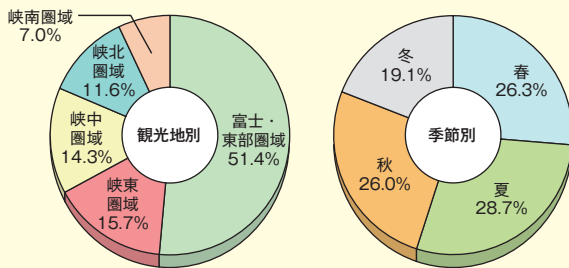
注)平成21年までは実人数で集計されていたが、調査の変更に伴い、平成22年度以降は延べ人数での集計となっている。

### 主な観光地別観光客数



〈令和元年山梨県観光入込客統計調査〉

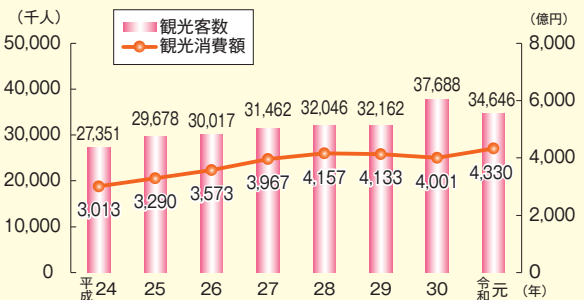
### 観光客数の割合(観光地別、季節別)



〈令和元年山梨県観光入込客統計調査〉

(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。)

### 観光客数と観光消費額の推移



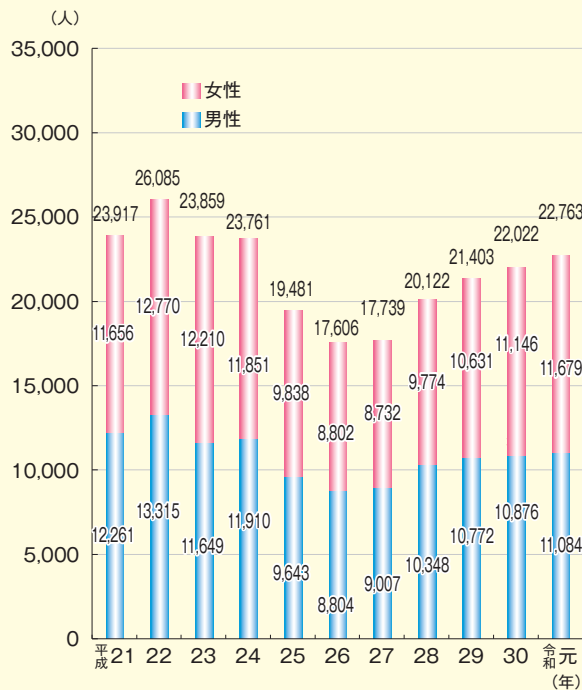
(山梨県観光入込客統計調査)

令和元年に本県を訪れた観光客数は、延べ人数5,246.8万人で、本県のスポーツ・レクリエーションを求めて訪れる人が一番多く、次に歴史・文化を求めて訪れる人が多くなっています。

本県で最も多く観光客が訪れるのは、季節では夏に、観光地では、富士山や富士五湖を中心とする富士・東部圏域となっています。

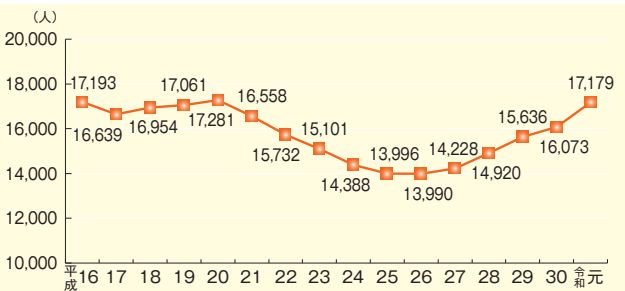
令和元年の観光消費総額は、4,330億円となっています。

### 旅券発行数の推移



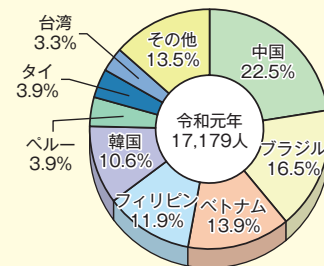
〈山梨県パスポートセンター「旅券発給の概要」〉

### 県内在留外国人(旧外国人登録者)の推移(各年12月末日現在)



〈法務省「在留外国人統計(旧登録外国人統計)」〉

### 国別在留外国人割合(令和元年12月31日)



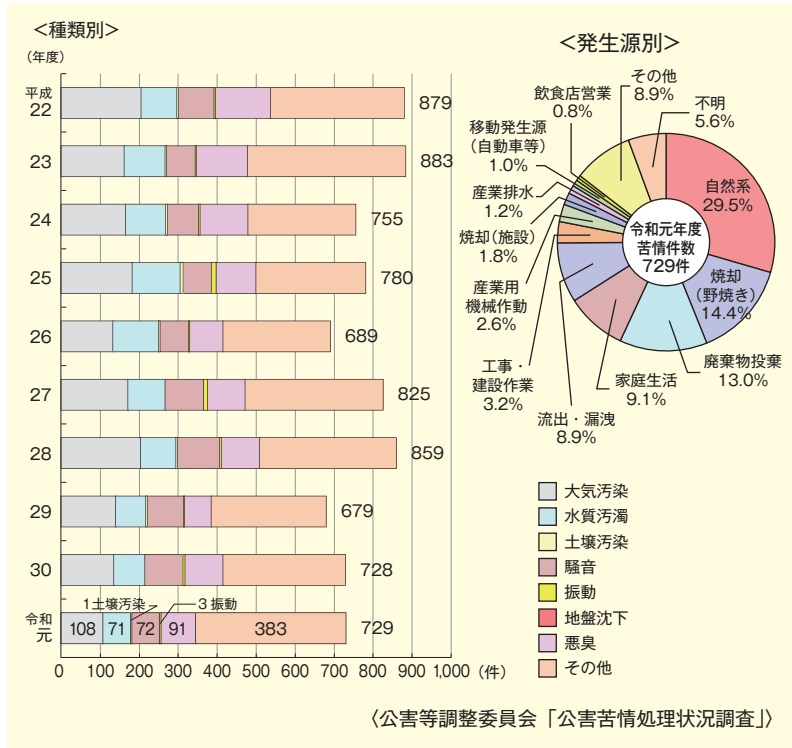
〈法務省「在留外国人統計」〉

令和元年における旅券発行(者)数は22,763人で、前年に比べ741人(3.4%)増加しています。

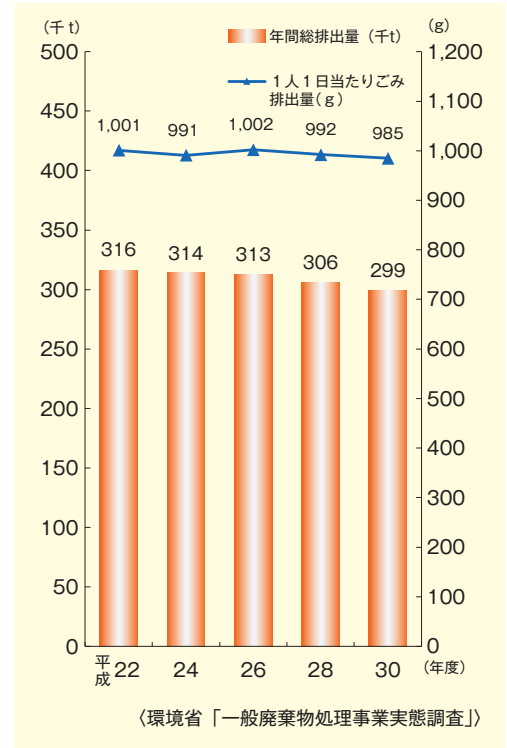
令和元年12月末現在の県内の在留外国人数は17,179人で、国別にみると、中国が最も多く22.5%、次いでブラジル16.5%、ベトナム13.9%の順となっています。

# 居住環境

## 公害苦情件数の推移・公害苦情の具体的原因割合

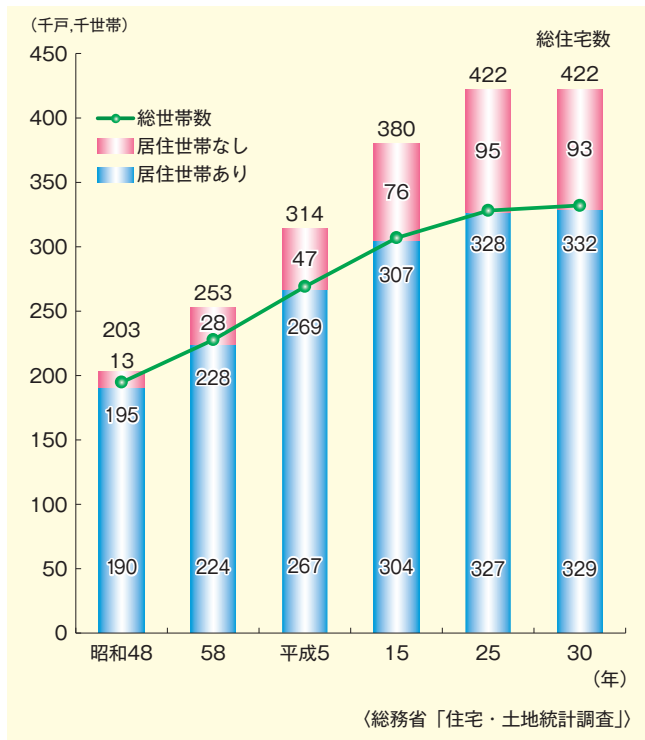


## 1人1日当たりごみ排出量と年間総排出量の推移

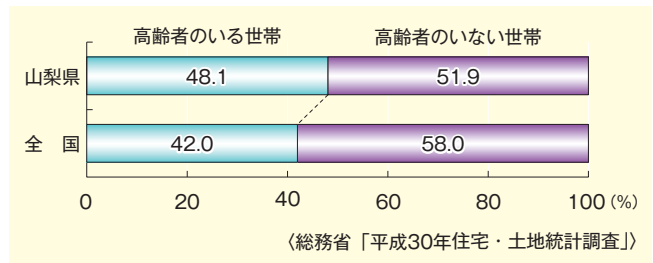


令和元年度の公害苦情件数は729件で、前年度に比べ1件増加しています。公害苦情件数を公害の種類別にみると、主な7つの公害に関する苦情が全体の47.5%を占めており、その中では、大気汚染、悪臭、騒音、水質汚濁の順となっています。

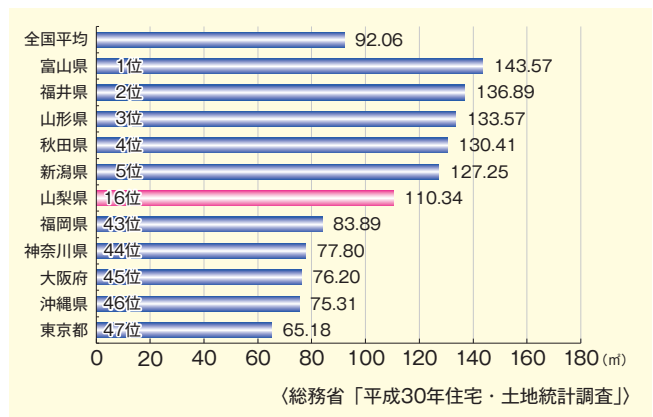
## 居住世帯の有無別住宅数・総世帯数の推移



## 高齢者のいる世帯の割合

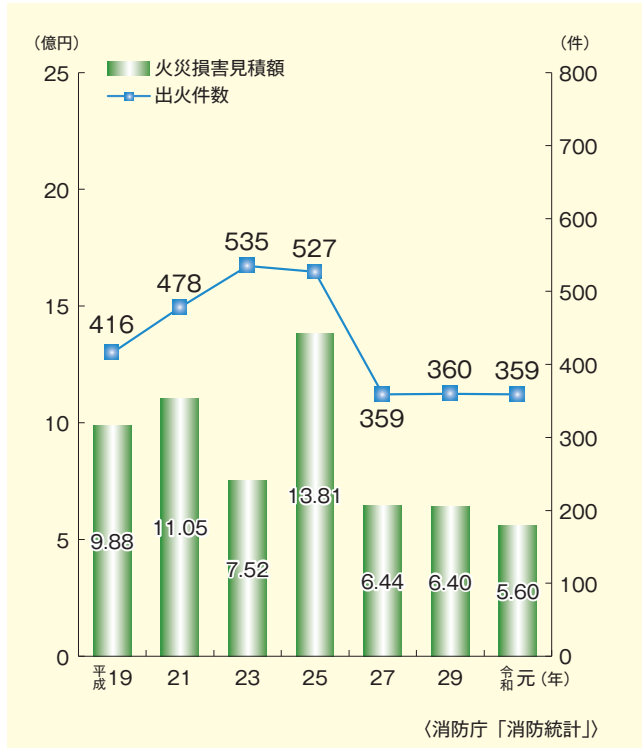


## 1住宅当たり延べ面積比較(専用住宅)

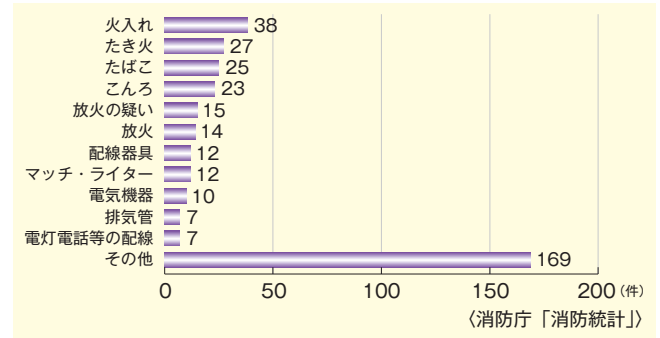


平成30年の居住世帯のある住宅数は32万9千戸、居住世帯のない住宅数は9万3千戸となっています。平成30年の本県の65歳以上の高齢者のいる世帯の割合をみると48.1%で、全国に比べて6.1ポイント高くなっています。平成30年の本県の1住宅当たり延べ面積(専用住宅)は110.34㎡で、全国平均(92.06㎡)より18.28㎡多くっており、全国順位第16位となっています。

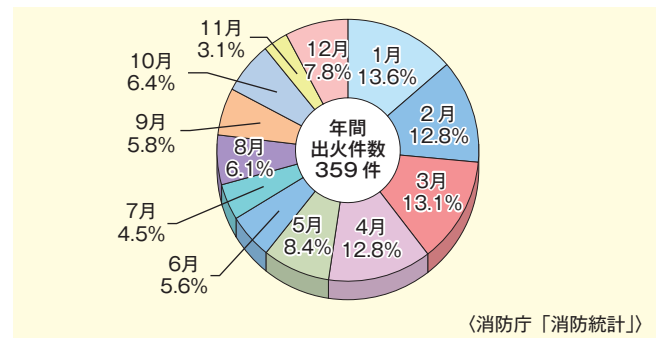
### 火災発生状況の推移



### 出火原因別・出火件数上位10位(令和元年)



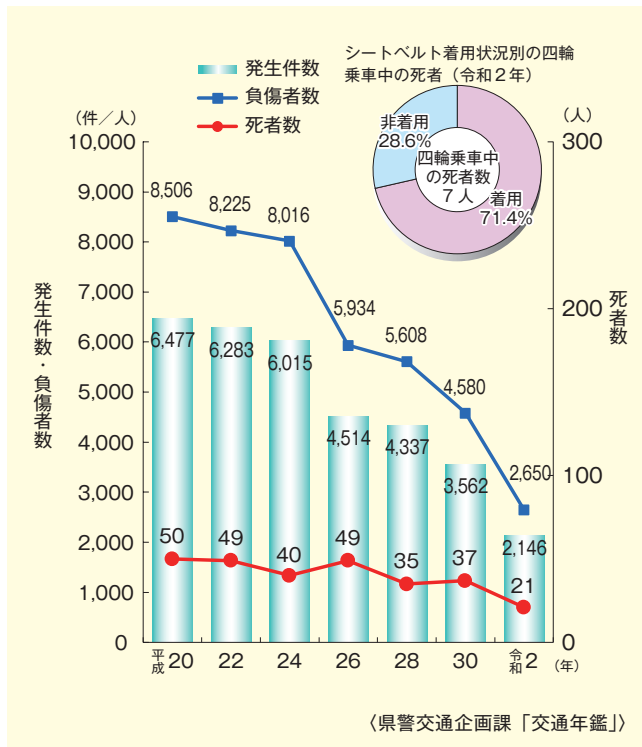
### 月別火災発生状況(令和元年)



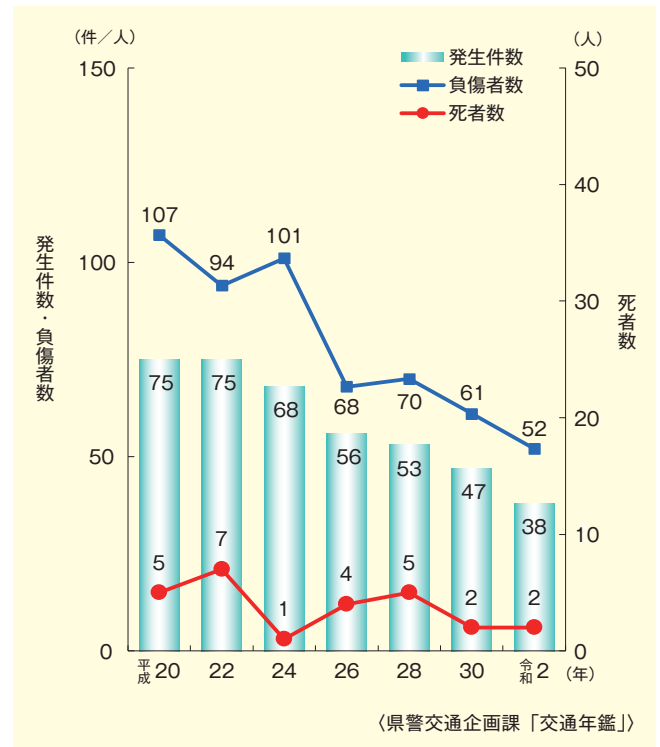
令和元年に発生した火災は359件で、2年前と比べると1件減少しています。損害見積額は、5億5,962万円で2年前より8,006万円減少しています。

また、令和元年中の月別火災発生件数は1月が最も多く、出火原因別・出火件数は、火入れ(枯草焼き等)、たき火、たばこが多くなっています。

### 交通事故発生件数等の推移



### 飲酒運転による交通事故発生件数等の推移



令和2年の交通事故発生件数は2,146件で、2年前と比べると1,416件減少し、死者数は21人で、2年前と比べると16人減少しました。

飲酒運転事故発生件数は38件で、2年前と比べると9件減少し、死者数は2人で、2年前と同数です。



**「統計からみたやまなし—令和2年度—」**  
**令和3年3月発行**  
**山梨県県民生活部統計調査課**

〒400-8501 甲府市丸の内一丁目 6-1

☎055(223)1340

URL [https://www.pref.yamanashi.jp/toukei\\_2/](https://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/)